

工事成績評定の考査項目表

区分： 簡便型【土木用】

適用年月： 平成30年8月

対象工事： 土木工事 …… 当初契約金額500万円以上5,000万円未満

考査項目： 【監督員】

| | |
|---|-------|
| 施工体制一般 配置技術者 (現場代理人等) 施工管理、工程管理 安全対策、対外関係 出来形、品質 難易度、創意工夫 | 全工種共通 |
|---|-------|

【主幹及び副主幹】

| | |
|-------------------|-------|
| 工程管理、安全管理 地域貢献 | 全工種共通 |
|-------------------|-------|

【検査員】

| | |
|----------|---|
| 施工管理、出来形 | 全工種共通 |
| 品質、出来ばえ | 土工工事(土工を別途評価する場合)、盛土工事(大規模) 切土工事(大規模)、補強土壁工事、法面工事 特殊法面工事、コンクリート構造物工事 ボックスカルバート工事、環境護岸・ブロック積工事 L型擁壁類工事、道路側溝・管渠・自由勾配側溝工事 防護柵工事、区画線等設置工事、標識工事、取壊工事 基礎工事(杭基礎、地盤改良等)、舗装工事 路面切削オーバーレイ工事、剥ぎ取り舗装工事 舗装復旧工事、インターロッキング・レンガ等舗装 土砂排除工事(農地)、用排水管路工事 水路工事、暗渠排水工事(農地) 可動ゲート工事、柵工・筋工・伏越工事 籠マット・フトン籠工事、林道工事(軽微) 木材木製品工事(木橋、木土留工、木流路工等) 鋼橋工事、橋・伸縮装置工事、床版補強工事 地覆・高欄工事、橋梁維持修繕工事(防錆塗装、 断面修復等)、組立歩道設置工事、公園遊具新設工事 テニスコート工事、グラウンド工事、バックネット工事 衝撃緩衝工事(野球場壁面等)、金属施設工事(フェンス等) 植栽工事、小規模植栽工事、植栽張芝工事、播芝工事 テニスコート人工芝工事、地下排水工事(公園等) 上水道工事、さく井工事(ロータリー式)、水管橋 下水道工事、橋梁添架工事(ポリ管)、管きよ更生工事 推進工主体工事、塗装工事、耐震性貯水槽工事(二次製品) 土堰堤工事(処分場等)、遮水シート等設置工事 仮設工事(土留め等)、仮設工事(ライナープレート) |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工体制

<監督員>

| 種別 | 工種 | | b | c | d | e |
|--------|----|--|---|--|---|-------------|
| | | | 80%以上 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | |
| | | | 施工体制が適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 施工体制がやや不備である。 | 施工体制が不備である。 |
| 施工体制一般 | 共通 | | <input type="checkbox"/> 施工計画書の現場組織表並びに施工体制台帳が適切に記載されており、作業分担が現場と一致している。 <input type="checkbox"/> コリンズの登録は、監督員の確認を受けた上で、契約後適正（全ての登録が10日以内）に行われている。 <input type="checkbox"/> 出来形・品質・写真管理等が社内で十分チェックされ、修正指示も少なかった。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨に則り、証紙の配布が受け払い簿等により1ヶ月以内に報告されている。また、下請け等に対する措置も適正である。 <input type="checkbox"/> 下請通知書及び下請負人選定理由書等が提出され、記載内容が適正である。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。 <input type="checkbox"/> 緊急指示等に対する対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に社内検査員を定め、社内検査基準及びチェックシートに基づき検査を実施している。 <input type="checkbox"/> 施工体制全般について、指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> 建設業許可票など現場掲示物を適切な場所に掲示している。 | <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 | |
| | | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工体制

<監督員>

| 種別 | 工種 | | a | b | c | d | e |
|---------------|----|--|---|---|--|-----------------|---------------|
| | | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | |
| | | | 技術者が適切に配置されている。 | 技術者がほぼ適切に配置されている。 | 他の項目に該当しない。 | 技術者の配置がやや不備である。 | 技術者の配置が不備である。 |
| 配置技術者（現場代理人等） | 共通 | | <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督員との協議等において責任ある対応を行い、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、現場代理人又は主任技術者が事前の調査・測量及び試掘等、入念な準備をしている。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が見やすく適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、改善指示も受けず、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事実施中に現場との相違が発生した場合、報告書及び事前照査報告書等により適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 請負金額3,500万円（建築一式工事の場合は7,000万円）以上の工事において、主任技術者又は監理技術者を専任で現場に配置している。 <input type="checkbox"/> 作業困難箇所において、作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。 <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、手戻り・手直し工事もなく良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業主任者を選任して、現場に氏名を掲示し作業員への周知を図っている。 <input type="checkbox"/> 現場代理人や主任技術者が腕章を着用している。 <input type="checkbox"/> 配置技術者について、指摘事項がなかった。 <input type="checkbox"/> 下請け工事等に対し、現場代理人及び主任技術者の実質関与が確認できる。 | <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 | | |
| | | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別 | 工種 | | b | c | d | e |
|------|----|--|--|--|---|-------------|
| | | | 80%以上 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | |
| | | | 施工管理が適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 施工管理がやや不備である。 | 施工管理が不備である。 |
| 施工管理 | 共通 | | <input type="checkbox"/> 工事請負契約書約款18条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、照査報告書及び打合せ簿等で監督員の確認を受けて施工している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料使用願や材料確認書等を不備がなく提出している。 <input type="checkbox"/> 日常の写真管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を不足なく整理している。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の数量に問題がなく、リサイクル等への取り組みが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓及びごみの整理が日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> 適切な提案が積極的に行われ、工事に反映されている。 <input type="checkbox"/> 仕様書又は監督員の指示に従い、段階確認・立会が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質を損ねないように、適切に保管されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理について、指摘事項がなかった。 | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 | |
| | | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e | |
|------|----|--|---------------|-------------|--|-------------|---|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | | |
| | | 工程管理が適切である。 | 工程管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 工程管理がやや不備である。 | 工程管理が不備である。 | |
| 工程管理 | 共通 | <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 特別な事情がない限り、契約後1ヶ月以内に工事着手した。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 工程管理について、指摘事項がなかった。 | | | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
| | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e | |
|------|----|---|---------------|-------------|---|-------------|--|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | | |
| | | 安全対策が適切である。 | 安全対策がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 安全対策がやや不備である。 | 安全対策が不備である。 | |
| 安全対策 | 共通 | <input type="checkbox"/> 社内パトロール等が行われており、指摘を受けた事項について、速やかに改善を図っている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半月/月以上実施している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、KY等を実施し、日常的に記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の日常点検整備等がなされ、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して誘導員等を配置して、重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の設置・管理が昼夜共に的確である。 <input type="checkbox"/> 交通誘導員の配置計画について、事前に監督員と詳細な協議がされ、的確な交通誘導員の配置がされている。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会(工事安全協議会)等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 高所作業においては、安全対策が適切である。 <input type="checkbox"/> 安全対策について、指摘事項がなかった。 | | | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 軽微な事故の発生 | | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 <input type="checkbox"/> 重大な事故の発生 |
| | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 ※ 工事事故について ・「軽微な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、「口頭注意」又は「文書注意」の措置となったものをいう。 ・「重大な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、入札参加資格停止の措置となったものをいう。 | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<監督員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e | |
|------|----|--|----------------|-------------|--|--------------|---|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | | |
| | | 対外関係が適切であった。 | 対外関係がほぼ適切であった。 | 他の項目に該当しない。 | 対外関係がやや不備であった。 | 対外関係が不備であった。 | |
| 対外関係 | 共通 | <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と協議し、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。また、苦情に対しては適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事と調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。 <input type="checkbox"/> 捨土及び工事で使用した土地について、同意書及び跡地完了届を提出した。 <input type="checkbox"/> 捨土が適正に処理され、土砂流出等の被害が発生しないように施工している。 <input type="checkbox"/> 地域住民や通行者に配慮した工事看板や案内板等を設置している。 <input type="checkbox"/> 対外関係について、指摘事項がなかった。 | | | <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | | <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
| | | ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | | | |

工事成績採点の考査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<監督員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|-----|----|---|------------------------------|---------------------------|---|--|
| | | 90%以上 出来形管理が適切である。 | 80%以上90%未満 出来形管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 出来形管理がやや不備である。 | 出来形管理が不備である。 |
| 出来形 | 共通 | <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、誤記載も少なく信頼できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分（基礎等）の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 目的物の精度要求に対し、妥当な自社管理基準を設定して適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し（ない場合でも）、目的物を隠さず創意工夫を持って適切に管理している。（必須） <input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能・機能が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。（性能発注工事、機械設備工事等に適用） <input type="checkbox"/> 出来形展開図等で2段書（設計・出来形）による比較がされるなど、みやすく工夫されている。 <input type="checkbox"/> 接続部分等を含む不可視部分が、適切に施工されていることを写真で確認できる。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。 |

工事成績採点の考査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<監督員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|--|----|---|--|---|--|--|
| 品質 | 共通 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、特にばらつきが少ない。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。 ※ 品質管理項目がない工事。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 | <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。 |
| ※ 品質管理資料による評価が困難な場合は、現地立会・試験結果等を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。 | | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：難易度

<監督員>

| 種別 | 工種 | 区分 | 技術キーワード | 具体的な評価技術力項目及び工事事例 |
|----------------|---|--|---|--|
| 難易度 | 共通 | 施工規模の大きさへの対応 | <input type="checkbox"/> 1 対象構造物の高さ、延長、施工面積（断面積）、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2 その他 | ・その他 |
| | | 構造物固有の難しさへの対応 | <input type="checkbox"/> 3 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む） <input type="checkbox"/> 4 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 5 その他 | ・地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 ・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 ・供用中の施設の改修工事等。 ・建築工事で耐震及び免震構造の工事 ・建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事 ・建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事 ・建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事 ・その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 |
| | | 技術固有の難しさへの対応 | <input type="checkbox"/> 6 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 7 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 8 NETISの評価試行方式を適用 <input type="checkbox"/> 9 その他 | ・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 ・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 ・その他、コンピューターシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。 ・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 ・NETISの評価試行方式を適用した工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 |
| 厳しい自然・地盤条件への対応 | <input type="checkbox"/> 10 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） <input type="checkbox"/> 11 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 12 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 14 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 15 その他 | ・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 ・建築工事で地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。（法面工は除く） ・斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 ・建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 ・海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 ・建築工事で冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 ・国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：難易度

<監督員>

| 種別 | 工種 | 区分 | 技術キーワード | 具体的な評価技術力項目及び工事事例 |
|--|----|-------------------|---|--|
| 難易度 | 共通 | 厳しい周辺環境等、社会条件への対応 | <input type="checkbox"/> 16 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 17 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 18 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 19 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 20 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 21 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 22 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 23 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 市街地での夜間工事。 DID地区での工事。 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事。 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。 場内に汚水処理装置を必要とする工事。 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 供用中の道路（概ね日交通量4000台以上）で片側交互通行の交通規制をした工事。 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。） |
| | | 施工現場での対応 | <input type="checkbox"/> 24 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 25 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 26 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 大気圧を越える気圧下の作業室での工事。 酸欠、有毒、可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面からOm以上（Om以下）での工事。 建築工事で特に困難な調整を要する他工事（近接工事）の請負者が複数ある工事 建築工事で外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。 |
| <p>※1 高度技術を難易度として評価する。 高度技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。</p> <p>※2 創意工夫との二重評価はしない。 高度技術は、「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、創意工夫で評価しなかったものを対象とする。</p> <p>※3 +13～0点の範囲での加点評価とする。</p> <p>※4 1項目2点として評価する。</p> | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：創意工夫

<監督員>

| 種別 | 工種 | 区分 | 創意工夫キーワード |
|------|----|-----------|---|
| 創意工夫 | 共通 | 準備・後片づけ関係 | <input type="checkbox"/> 1 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> 3 その他 |
| | | 施工関係 | <input type="checkbox"/> 4 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 <input type="checkbox"/> 5 コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫及び工事加工製品を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫。又は、リサイクルに対する積極的な取り組み。 <input type="checkbox"/> 6 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 7 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 8 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 9 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 10 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 11 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 12 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 13 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 14 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 15 建築工事でプレバブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 16 建築工事で改修工事における仮設備の工夫 <input type="checkbox"/> 17 その他 |
| | | 品質関係 | <input type="checkbox"/> 18 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 19 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 <input type="checkbox"/> 20 コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来形・品質等） <input type="checkbox"/> 21 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 <input type="checkbox"/> 22 配筋・溶接作業等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 23 建築関係で躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 24 建築関係で材料の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 25 建築関係で施工の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 26 建築関係で品質試験方法の工夫 <input type="checkbox"/> 27 その他 |
| | | 安全衛生関係 | <input type="checkbox"/> 28 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 29 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 30 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 31 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理。及び粉塵防止策や作業中の換気等々の工夫 <input type="checkbox"/> 32 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 33 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> 34 建築工事で苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 <input type="checkbox"/> 35 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 36 その他 <input type="checkbox"/> 37 建災防等による建設従事者に対する安全衛生教育 |
| | | 施工管理関係 | <input type="checkbox"/> 38 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 39 建築工事で出来形管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 40 施工計画書及び写真管理等の工夫（デジタル写真ソフトの活用等） <input type="checkbox"/> 41 出来形、品質との計測関係等の工夫。及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> 42 CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> 43 その他 |
| | | その他 | <input type="checkbox"/> 44 その他 <input type="checkbox"/> 45 その他 <input type="checkbox"/> 46 その他 |

- ※1 特に評価すべき創意工夫事例を評価する。
 高度技術として評価するほどでもないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば評価する。
 「施工状況」「出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも評価する。
- ※2 難易度（高度技術）との二重評価はしない。
 創意工夫は、「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本審査項目では軽微なものを対象とする。
- ※3 +7～0点の範囲での加点評価とする。
- ※4 1項目1点として評価する。

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<主幹及び副主幹>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|--|----|---|---|--|---|--|
| | | 合計3点以上 | 合計1点以上 | 合計±0点 | 合計-1点以下 | |
| | | 工程管理が非常に優れている。 | 工程管理がやや優れている。 | 他の項目に該当しない。 | 工程管理がやや不備である。 | 工程管理が不備である。 |
| 工程管理 | 共通 | <input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある工事における工程管理 【加点(+1)】工程管理が優れていたため余裕をもって工事を完成(10%以上短縮)させた。 【減点(-1)】工程管理の不備から工期が遅れ、工期末の突貫工事等が行われた。 | | | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行い工期内に完成した。 | <input type="checkbox"/> 工期内に完成できなかった。 |
| <input type="checkbox"/> 積極的な地元調整による工期内の工事完了 【加点(+1)】地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 【減点(-1)】調整を怠ったことによるトラブルが原因で、工期末の突貫工事等が行われた。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との工程調整 【加点(+1)】隣接する他の工事等との工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 【減点(-1)】工程調整を怠ったため、工程の遅れが生じトラブルが発生した。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組み 【加点(+1)】配置技術者が真剣かつ積極的に工期や工程について考える姿勢が見られた。 【減点(-1)】配置技術者が工期や工程について真剣に考える姿勢が見られない。 | | | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行い工期内に完成した。 | <input type="checkbox"/> 工期内に完成できなかった。 | | |
| <input type="checkbox"/> 地域住民に対する公共工事のイメージアップ 【加点(+1)】工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間の工事を回避できた。 【減点(-1)】工程管理を怠ったことにより、地域住民から苦情が生じた。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合における工程管理 【加点(+1)】工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成(10%以上短縮)させた。 【減点(-1)】工程管理の不備から工期が遅れ、工期末の突貫工事等が行われた。 | | | | | | |
| ※ 選択した評価対象項目の加点(+1)、減点(-1)の合計で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行い工期内に完成した。 | <input type="checkbox"/> 工期内に完成できなかった。 | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<主幹及び副主幹>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|---|----|---|--|-----------------------------------|--|---|
| | | 合計3点以上 | 合計1点以上 | 合計±0点 | 合計-1点以下 | |
| | | 安全対策が非常に優れている。 | 安全対策がやや優れている。 | 他の項目に該当しない。 | 安全対策がやや不備である。 | 安全対策が不備である。 |
| 安全対策 | 共通 | <input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止 【加点(+1)】建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 【減点(-1)】建設労働災害、公衆災害の防止への努力を怠り、事故や災害が発生した。 | | | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 |
| <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制の確立 【加点(+1)】労働安全衛生法や規則等に基づく安全衛生管理体制(安全衛生管理組織等)を確立し、組織的に取り組んでいる。 【減点(-1)】労働安全衛生法や規則等に基づく安全衛生管理体制が確立されていない。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫 【加点(+1)】安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 安全協議会活動への積極的な取り組み 【加点(+1)】安全協議会が設置されている現場で、安全協議会活動に積極的に取り組むなどリーダーシップを発揮している。 【減点(-1)】安全協議会が設置されている現場で、安全協議会活動に度々欠席したり、活動への取り組み状況が悪い。 | | | <input type="checkbox"/> 軽微な事故の発生 | <input type="checkbox"/> 重大な事故の発生 | | |
| <input type="checkbox"/> 活発な安全衛生管理活動 【加点(+1)】安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 【減点(-1)】安全衛生管理活動への取り組みが悪い。 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 安全対策への取り組み 【加点(+1)】安全対策に係る取り組みが地域等から評価された。 | | | | | | |
| ※ 選択した評価対象項目の加点(+1)、減点(-1)の合計で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 軽微な事故の発生 | <input type="checkbox"/> 重大な事故の発生 | |
| ※ 工事事務について ・「軽微な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、「口頭注意」又は「文書注意」の措置となったものをいう。 ・「重大な事故」とは、都城市建設工事等入札参加者資格審査委員会の審議の結果、入札参加資格停止の措置となったものをいう。 | | | | | | |

工事成績採点の考査項目表（簡便型(土木用)）

項目：社会性等

<主幹及び副主幹>

| 種別 | 工種 | a | b | c | | |
|------|----|--|--------------------------|-----------------------|--|--|
| | | 4項目以上該当 地域貢献が非常に優れている。 | 2項目以上該当 地域貢献がやや優れている。 | 該当項目なし 他の項目に該当しない。 | | |
| 地域貢献 | 共通 | <input type="checkbox"/> 河川等の水質汚濁防止や動植物の保全措置など、周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域の景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 災害時等において、地域への支援又は行政等による救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> 作業時間(交通制限)を商店等の地域経済活動や児童の登下校時間帯に配慮して調整を行った。 <input type="checkbox"/> その他(上記以外で評価すべき取り組みについて具体的に記述する。) | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：施工状況

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e | | |
|----------------------------------|----|--|---------------|-------------|--|-------------|---|--|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | | | |
| | | 施工管理が適切である。 | 施工管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 施工管理がやや不備である。 | 施工管理が不備である。 | | |
| 施工管理 | 共通 | <input type="checkbox"/> 工事請負契約書約款第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、照査報告書及び打合せ簿等で監督員の確認を受けて施工している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書は、着手前に提出され、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。（記載漏れ・誤りの多いものはマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 施工計画書（変更を含む）及び打合せ簿と現場の施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工体制に関して、作業分担と責任の範囲が施工計画書等で確認でき、現場の施工体制と一致している。 <input type="checkbox"/> 下請工事がある場合、施工体制台帳及び施工体系図が誤りなく作成されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料等の二次製品使用願及び品質保証書等に期限切れや漏れ等の不備がなく、適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料は、品質を損なわないように適切に保管されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 仕様書及び監督員指示に従い、段階確認、立会いの申請が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 各種管理記録・工事記録等の整備が、日常的に的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分手続きに問題がなく、リサイクル等への取り組みが適切になされている。 <input type="checkbox"/> 建設退職共済制度の主旨を理解し、証紙の配布について受払簿の写し等で報告している。 <input type="checkbox"/> 社内検査基準及びチェックシート等が作成され、適切に実施している。（表面的な社内検査は評価対象外とする。） <input type="checkbox"/> 建設業許可票など現場掲示物を適切な場所に掲示している。 <input type="checkbox"/> 関係書類及び資料の整理がよい。 <input type="checkbox"/> 工事写真等の記録の整理に工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> 検査員の質問に対し、現場代理人及び主任技術者が的確に工事内容等の説明を行った。 | | | <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。 | | <input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 | |
| ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e | | |
|--|----|--|----------------|-------------|---|--------------|--|--|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | | | |
| | | 出来形管理が適切である。 | 出来形管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 出来形管理がやや不備である。 | 出来形管理が不備である。 | | |
| 出来形 | 共通 | <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表に適切にまとめられており、誤記載も少なく信頼できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分（基礎等）の出来形が写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 目的物の精度要求に対し、妥当な自社管理基準を設定し、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し（しない場合でも）、目的物を隠さず創意工夫を持って適切に管理している。（必須） <input type="checkbox"/> 出来形の形状・寸法が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 出来形の性能・機能が設計値（設計図書）を満足し、ばらつきが少ない。（性能発注工事、機械設備工事等に適用） <input type="checkbox"/> 接続部分を含む不可視部分が、適切に施工していることを写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 各種管理の軽減を図るための工夫を行い、説明責任（証明）を果たせる内容であると評価できる。（プラス評価のみ） | | | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 | | <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。 | |
| ※ 選択した評価項目（評価対象項目）に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|-------------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 土工工事(土工を別途評価する場合) | <input type="checkbox"/> 掘削が丁寧で、過掘り等により地盤を乱していない。過掘り等があっても転圧等の適切処理により、従前の状態に回復している。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土材の土質及び含水比が適正で、転圧完了状態も良好である。工事においては標尺を設置し、1層ごとの施工厚と転圧機械が施工状況写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部で、転圧困難箇所（構造物周辺や端部）の施工状況が写真管理され、転圧状態から品質の良さが窺える。 <input type="checkbox"/> 層毎の転圧完了面に転圧痕を隠す目的で仕上げ行為をしておらず、埋戻し及び盛土部にクラック及び沈下等の兆候が見られない。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 盛土工事(大規模) | <input type="checkbox"/> 湧水及び雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> すべりが懸念される盛土部では、段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 土羽面の土質が、植生に配慮した土で盛土されている。 <input type="checkbox"/> 降雨や地下水の影響を受けないように工夫し、かつ最適含水比を考慮し、締めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝及び張芝または種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の土質（必要に応じてCBR試験等）及び含水比を確認の上、施工している。 <input type="checkbox"/> 現場条件（幅・密度等）に適した機械で施工し、また標尺を利用するなど1層毎の転圧状態も良好である。 <input type="checkbox"/> 狭幅部の転圧困難な箇所の施工は、監督員と協議し、指示を受けて施工している。 <input type="checkbox"/> 地山と盛土境界部は有機物除去がされ、また圧密沈下によるクラックが発生しないような処置を行っている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 切土工事(大規模) | <input type="checkbox"/> 雨水による侵食・崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 雨水による侵食等の拡大を防止するため、小段及び小段排水を適切に設置している。 <input type="checkbox"/> 切土面にボラやシラス等が現れた場合は、監督員と協議を行い、適切な処置を講じている。（提案があれば評価対象） <input type="checkbox"/> 掘削位置を確定するため入念な測量を行い、丁張に従った施工がされ、その精度も高く過掘りも少ない。 <input type="checkbox"/> 張芝または種子吹付等を適切に行い、法面の緑化を図っている。 <input type="checkbox"/> 掘削面の湧水等の調査を行い、報告している。 <input type="checkbox"/> 大規模な掘削においては、掘削面の安定確認調査（土質による安定勾配等）を行い、報告書を提出している。 <input type="checkbox"/> 切土面にある切株の除去において、法面に影響を与えないように協議して施工している。もしくは原形復旧している。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 補強土壁工事 | <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> 盛土の締めを適切な条件（人力・機械・巻き出し厚・敷均し・転圧作業等）で施工している。 <input type="checkbox"/> 製品の組み立て等が丁寧に行われ、また製品・材料等の品質が工場管理資料よりの確に確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締め管理（密度等）が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設置箇所が安定地盤であり、基盤面処理（過掘り処理及び基面整正）を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 敷設材（テープ類）の設置（敷設長・重ね・固定）を適切に行っている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|-------------|--|-----------------------------|---------------------------|---|--|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 法面工事 | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工基面に浮石等がなく、平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 湧水調査が行われ、水抜きパイプ等の設置位置に反映されている。 <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 金網を固定するアンカーピンの施工本数、ピッチ、径、材質、施工長さ等が適切で、スペーサーの設置位置も適切である。 <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等である。また吹付け厚さが規定以上の場合、2層以上に分けて行っているのが確認できる。</p> <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 金網を固定するアンカーピンの施工本数、ピッチ、径、材質、施工長さ等が適切で、スペーサーの設置位置も適正である。 <p><input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等、かつ施工厚確認箇所が危険箇所である凸部に設置され、設計厚以上であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認でき、試験結果も良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。また、表面に剥離等の異常が認められる場合はコア採取し、強度試験及び厚さ確認が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 水抜きパイプにモルタル等のつまりがない。また吹付面の表面に背面からと思われる地下水浸透が見られない。</p> <p>【現場打砕工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アンカーの施工長さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 供試体が当該現場の供試体であることが確認でき、試験結果も良好である。 <input type="checkbox"/> 砕内に空隙がないことが確認できる。もしくは砕内に空隙が発生しにくい施工方法で施工している。 <input type="checkbox"/> 鉄筋管理を行い、加工及び組み立てが堅固で吹付振動等による変形や異常が見られない。 <input type="checkbox"/> 跳ね返り材料が適切に処理されている。また、表面に剥離等の異常が認められる場合はコア採取し、強度試験及び厚さ確認が行われている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| | 特殊法面工事 | <p>【水抜き土留め柵工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 計画床掘面は凹凸がないように十分に締固め、周辺地盤を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 法面最下段の位置は法尻に近い位置に設置され、これを基準に所定のスパンで法肩に向かって施工している。 <input type="checkbox"/> 柵ドレーン集水口が同一方向になるように設置され、目詰まり防止フィルターで覆い、端末は土砂流入防止がされている。 <p><input type="checkbox"/> 柵ドレーン集水口が法肩に向いていることが確認できる。また止杭が法表面に突き出していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 埋戻しの仕上がり厚は標尺等により管理され、写真から転圧状態の良さがうかがえる。</p> <p>【水平集排水ボーリング工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 集水管上部に吸出し防止材を敷設し、十分に締固めながら埋戻しを行っている。 <input type="checkbox"/> 水平集・排水用パイプ打込みに際して、打込み架台が滑動及び沈下しないように措置している。 <p>【縦排水工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 縦排水工において、位置決定が適切であるとともに、床掘面は凹凸がないように整形され転圧されている。 <input type="checkbox"/> 縦排水工の溝底部には法肩から法尻の端末パイプまで、ポリシート等を切断せずU字状に敷設し、水漏れ対策をしている。また、溝底部に敷設されたシートの最下端部は集水管を包み込みながら、端末パイプに挿入されている。 <input type="checkbox"/> 集・排水(フィルター)パイプの打込み勾配が、所定の勾配で打込まれているか確認しながら施工している。 <input type="checkbox"/> 集・排水パイプ打込み完了後、パイプ内の土砂等を清掃してから、所定の長さのドレーンを挿入している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| | コンクリート構造物工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の供試体を当該現場と確認できる形で採取し、また強度・スランプ・空気量等の試験結果に問題がない。 <input type="checkbox"/> 運搬時間や打設時の投入高さ及び湧水処理等に配慮があり、適切に施工している。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 締固め時のバイブレーターの機種及び施工方法や養生方法及び養生日数等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工が堅固に設置され、取り外し時のコンクリート強度(一般5N以上、重要14N以上)も適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認でき、引張・曲げ強度が試験値で確認できる。また、鉄筋の保管管理も適正で過度のさびもない。 <input type="checkbox"/> 一回の打設高が基準以内で施工されていることが確認でき、補強筋や打ち継ぎ目処理(レイタンス除去等)が適切である。 <input type="checkbox"/> 開口部に対し、適切に補強鉄筋が配置されている。(設計不備でも提案等が行われていなければマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 取り上げ寸法が写真管理され、かつマーキングを行っている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の加工・組立が適正(適切な結束及び必要定着長の確保)であることが確認できる。(写真管理がなければマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 基礎地盤の状態が良好で構造物全体の安定性が窺える。(基礎地盤に対する改善提案を文書で行っていれば評価対象とする。) <input type="checkbox"/> スペーサーの材質及び規格が適正でスペーサーの適正配置により、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 水抜きパイプの設置が適切で詰まりもない。また、目地の設置位置は構造物に適した位置に設置している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|--------------|--|--|--|---------------------------|---|--|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | ボックスカルバート工事 | <p>【共通及び基礎工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基礎地盤の良否判断が、監督員の段階確認もしくは土質試験結果等の承認を得ている。 <input type="checkbox"/> 覆工板等による交通開放は、段階確認(安全性のチェック)を受けている。 <input type="checkbox"/> 基礎砕石及び基礎コンクリート等は基礎地盤を均一に保ち、設計上要求される支持力を均等に得るための施工となっている。 <input type="checkbox"/> 打撃試験結果で、現場打ちコンクリート部分の強度が十分発現していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に対して防護(壁ブロックの転倒防止等)を図るなど、臨機の措置により施工している。 <p>【敷設工共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基礎面の不純物を清掃した後、敷きモルタルを凹凸の無いように敷き均し、基盤の低い方から高い方に向かって敷設している。 <input type="checkbox"/> 二次製品等の吊り込み・据付等では誘導員や指示員を配置し、事故防止に十分注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品を切断加工している場合、製品切断許容範囲内であることが確認できる。製品形状を特注した場合は評価対象とする。 <p>【敷設工（通常継手型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 継手面の清掃後に引込み及び接合が行われ、継手部が正しく挿入されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 屈曲部等の製品接合が同等の強度(補強筋等)を有する現場打ちで施工され、接合状態も問題ない。 <p>【敷設工（縦方向連結型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 縦締め用PC鋼材(鋼線)緊張においては、所定の引張力が得られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊張において仮緊張後、本緊張を行うと共に、緊張の順序が守られていることを写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦締め終了後、速やかにグラウト材を注入していることが写真で確認(注入と吐出)できる。 <p>【埋戻工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 標尺等により一層仕上り厚が管理され、かつ両側の施工状態が合っていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 最適含水比に配慮し、適正な状態で転圧していることが確認できる。また、締固め機械も適切である。 <input type="checkbox"/> 圧縮性が低かつ透水性の良い材料を選定していることが確認できる。(材料の変更提案があれば、評価対象とする。) <input type="checkbox"/> 転圧痕により、適切な転圧が確認できる。転圧痕を消している場合は不適切施工とみなし、マイナス評価とする。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| 環境護岸・ブロック積工事 | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基礎地盤の状態が良く、設置位置も安定箇所にあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられ、雑物等の混入がないように清掃している。 <input type="checkbox"/> プレキャスト基礎の設置は均平になるよう敷きモルタルを施工している。(河川等ではプレキャスト基礎使用を提案していれば評価対象) <input type="checkbox"/> 水替え及び土留め等が適切に施工され、埋戻し等の品質に悪影響を与えないように施工している。(ドライワークの確保等) <input type="checkbox"/> 盛土・埋戻しの施工では、適切な転圧機械の使用と標尺により適切な施工厚で転圧されている。また裏盛土を同時施工していない。 <input type="checkbox"/> 基礎は所定の根入れをしており、基面部の洗掘や基礎前面の崩壊等の危険がない。 <p>【環境保全ブロック工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 裏込め材、中詰め材、胴込めコンクリートの充填及び締固めが適切で、余分な空隙がない。 <input type="checkbox"/> 環境保全ブロック・石積(張り)等の材料の連結又はかみ合わせが適切で、裏込め材の吸い出しの恐れがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の現場打ち施工部は、規格・寸法・強度・水密性等、環境保全ブロック積みと同等品質とみなせる。 <input type="checkbox"/> 遮水及び吸い出し防止マット等が所定の幅で重ね合わされ、端部処理も適切である。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤の盛土及び路盤改良は、圧縮性の低い良質な材料で施工している。河川においては河床低下が発生しないような工夫及び提案を行っている。 <input type="checkbox"/> 取り上げ寸法が写真管理され、かつマーキングされている。 <p>【ブロック積工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 胴込コンクリートのバイブレーター使用が適切で、適度にセメントミルクが染み出ている。(清掃を行っても可) <input type="checkbox"/> 材料の連結または、かみ合わせが適切で、かみ合わせ部にモルタル上塗りを行っていない。(湾曲部で5cm以上の開きはマイナス評価) <input type="checkbox"/> 現場打ち施工部は規格・寸法・強度等、ブロック積みと同等品質とみなせる。 <input type="checkbox"/> 水抜きパイプ及び目地は適切に設置され、水抜きパイプにおいては胴込コンクリート等による詰まりがない。 <input type="checkbox"/> 打ち継ぎ目処理(養生・清掃・レイタンス除去)を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 丁張を2重に設けるなど法勾配・裏込め材の厚さ確保のため細心の注意を払っている。 <input type="checkbox"/> 取り上げ寸法が写真管理され、かつマーキングされている。 <input type="checkbox"/> 日施工量オーバーやバイブレーター施工不良等によるブロック異常(凹凸)がない。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|------------------|---|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | L型擁壁類工事 | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 掘削は安定勾配で過掘りもなく丁寧に施工している。また、過掘りについては良質材で埋戻し、地山状態に戻している。 <input type="checkbox"/> 基礎が安定地盤及び安定箇所にあることが確認できる。また、軟弱地盤においては置換等の処理が行われている。（提案があれば評価対象） <input type="checkbox"/> 基礎地盤の整形・清掃・湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根入れが設計図書どおり確保されている。また、基礎前面（基礎保護部）の安定が見込める。 <input type="checkbox"/> 裏込め・受動部埋戻しにおいて、仕様書等で示す条件（土質・含水比・密度等）により締固めがされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリートは設計通り施工されており、端部段差等も適切に処置している。 <p>【プレキャスト擁壁類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が行われている。また、JIS規格外品については、仕様書で規定する規格・品質を満足している。 <input type="checkbox"/> 二次製品の保管・吊り込み・据付等に十分注意を払っていることが確認できる。また、高さ調整用に木材を使用した場合は撤去したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 擁壁に倒れ込み等の変形がなく、また補修等の痕も見られない。 <input type="checkbox"/> 天端（嵩上げを含む）コンクリートにクラック等がない。 <input type="checkbox"/> 接続地山の安定勾配確保及び構造物等への取付けが適切に施工されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 道路側溝・管渠・自由勾配側溝工事 | <p>【共通及び基礎工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 掘削が丁寧に、過掘り等により地盤を乱していない。過掘り等があっても転圧等の転圧処理により、従前の状態に回復している。 <input type="checkbox"/> 土質や地下水に配慮し、基礎地盤を均平に仕上げている。（段階確認等で監督員確認を受けていれば、評価対象とする。） <input type="checkbox"/> 現場打ち基礎とプレキャスト基礎の選定（変更の場合、協議書が必要）が適切に行われ、仕上がり状態も良好である。 <input type="checkbox"/> 基礎面の清掃を行った後、敷きモルタルを凹凸がないように施工していることが、施工状況及び完了写真から窺える。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に対して防護（壁ブロックの転倒防止等）を図るなど、臨機の措置により施工している。 <p>【布設工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 製品を下流側から上流に向け敷設している。 <input type="checkbox"/> 二次製品等の吊り込み・据付等に十分注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 【通常継手型】継手面の清掃後に引き込み及び接合が行われ、継手部が正しく挿入されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 屈曲部等の製品接合が同等の強度（補強筋等）を有する現場打ちで施工され、接合状態も問題ない。 <input type="checkbox"/> 底盤コンクリート及び調整コンクリートが設計勾配通り施工され、底盤は金ゴテ仕上げされている。 <input type="checkbox"/> 樹の接合部は樹壁と一体化し、漏水等の不安がない。 <input type="checkbox"/> 家庭排水管等の接合は削孔を行い、内外からモルタルもしくはコンクリートで平滑に仕上げている。 <input type="checkbox"/> 勾配の小さい水路及び高低差の小さい樹ではインパットの施工等、水の流れに配慮した施工となっている。 <p>【埋戻工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 標尺等により一層仕上り厚が管理され、かつ両側を同時転圧している。 <input type="checkbox"/> 最適含水比に配慮し、適正な状態で転圧していることが確認できる。また、締固め機械も適切である。 <input type="checkbox"/> 横断部では圧縮性が低くかつ透水性の良い材料を選定していることが確認できる。（材料の変更提案があれば、評価対象とする。） <input type="checkbox"/> 転圧痕により、適切な転圧が確認できる。（故意に転圧痕を消している場合は不適切施工とみなし、マイナス評価とする。） <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 防護柵工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 材料の加工（曲げ・切断・溶接等）が、監督員と協議して実施している。 <input type="checkbox"/> ガードレール等設置において全てのボルトが適正に締付けされ、ガタツキもない。 <input type="checkbox"/> コンクリート基礎の規格・寸法が設計図書どおり、施工されている。 <input type="checkbox"/> 打ち込み長（根入れ）が確保されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 区画線等設置工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 材料等において、共通仕様書記載の規格に従い適切に施工している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--|--|-----------------------------|--|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 標識工事 | <input type="checkbox"/> 各種設置基準等の規定に従い適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 材料等において、共通仕様書記載の規格に従い適切に施工している。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 取壊工事 | <input type="checkbox"/> 分別、再資源化を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 廃棄物の処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適正である。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 基礎工事 (杭基礎、地盤改良等) | 【共通】 <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭の打込み、埋込み等において、水平度、安全度、鉛直度等(JIS A7201の規定)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書(共通仕様書、共通編3-4-4)に定められた事項が確認できる。 【場所打杭】 <input type="checkbox"/> 場所打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。 【深層杭】 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 【地盤改良】 <input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 【直接基礎】 <input type="checkbox"/> 栗石や砕石とのかみあい期待できるように、ある程度の不陸を残して基礎底面地盤を整地して、その上に栗石や砕石を配置している。 <input type="checkbox"/> 均しコンクリートと基礎地盤が十分かみあうように、基礎底面地盤にはある程度の不陸を残し、平滑な面としないよう配慮している。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 舗装工事 | 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> 流用土を使用する場合、土質試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のブルフローリングを行い、ベンケルマンビームまたは平板載荷試験等で確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 地下水対策及び雨水対策が講じられ、適切な作業環境で施工している。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めでは、散水等により含水比調整を行い、施工している。(表面の乾燥状態で目視的判断を行うこと。) <input type="checkbox"/> 路床・路盤材料の種類及び品質が設計図書及び仕様書の規格を満足している。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤の締固め施工厚は標尺等により仕様書どおりの施工が確認でき、写真から転圧状態の良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 上層路盤に過度の材料分離が見られない。または工事写真等で、粒度調整を行ったことが分かれば評価対象とする。 【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> 設計図書通り(監督員の指示があれば混合物の配合設計及び試験練りが必要)の混合物品質及び規格等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が、出荷時・到着時・舗設時で観測・記録されている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50℃以下であることを確認し、適切に交通開放している。 <input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。 <input type="checkbox"/> 舗装各層の継目(縦・横継目)が仕様書に定められた数値以上確保しており、また端部転圧も問題ない。 <input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法(シート保護等)や舗設作業(締め固め等)への配慮が行われている。 <input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書で示された最適温度で施工している。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |

工事成績採点の考査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|--------------|---|-----------------------------|--|---|-------------|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 路面切削オーバーレイ工事 | <input type="checkbox"/> 設計書通り（監督員指示があれば混合物の配合設計及び試験練り報告書が必要）の、混合物品質及び規格等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が出荷時・到着時・舗設時で整理・記録され、また運搬時の品質保全対策（シート等）もされている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50度以下であることを確認し、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。 <input type="checkbox"/> 舗装各層の継目（縦・横継目）が仕様書に定められた数値以上離隔を確保しており、また端部転圧も問題ない。 <input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書に示された最適温度で施工している。 <input type="checkbox"/> 切削面に浮石やゴミ等の有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 切削面にクラック等の異常が発見された場合、その処置方法について速やかに監督員と協議していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤状態を表層に影響させないように、適切な処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 切削前に縦横断測量を行い、舗設計画図面を作成し、監督員の承諾を得て施工している。（必須） <input type="checkbox"/> 3点法または5点法による管理目標設定を行い施工している。（必須） <input type="checkbox"/> 既設道路内構造物（マンホール蓋等）の高さ診断を行い、摺りつけ可能及び不可能の報告を文書で行っている。 <input type="checkbox"/> 施工区間（起点・終点）が適切である。または施工区間外の路面状態から起終点の見直し提案を文書で行っていれば、評価対象とする。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |
| | 剥ぎ取り舗装工事 | <input type="checkbox"/> 設計図書通り（監督員が指示した場合は混合物の配合設計及び試験練りが必要）の、混合物品質及び規格等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度等管理が出荷時・到着時・舗設時で整理・記録され、また運搬時の品質保全対策（シート等）もされている。 <input type="checkbox"/> 舗設後、直ちに供用開始する必要がある現場で、路面温度が50度以下であることを確認し、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> プライムコート・タックコートがむらなく散布され、目地及び接合部へも刷毛等で丁寧に塗布されている。 <input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書に示された最適温度で施工している。 <input type="checkbox"/> 既設道路内構造物（マンホール蓋等）の高さ診断を行い、摺りつけ可能及び不可能の報告を文書で行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて掻き起しを行い、適切な不陸修正を行っている。 <input type="checkbox"/> 剥ぎ取り面に異常が発見された場合、その処置方法について速やかに監督員と協議している。 <input type="checkbox"/> 剥ぎ取り前に縦横断測量を行い、舗設計画図面を作成し、監督員の承諾を得て施工している。 <input type="checkbox"/> 施工区間（起点・終点）が適切である。または施工区間外の路面状態から起終点の見直し提案を文書で行っていれば評価対象とする。 <input type="checkbox"/> 上層路盤に材料分離が見られない。 <input type="checkbox"/> 2層以上の舗装の場合、舗装各層の継目（縦・横継目）が、仕様書で示された数値以上離隔を確保しており、また端部転圧も問題ない。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |
| | 舗装復旧工事 | <input type="checkbox"/> 設計図書通りの混合物品質及び規格等が確認できる。また、歩道乗り入れ部の骨材変更については打合せ簿処理されている。 <input type="checkbox"/> 混合物の温度管理が出荷時・到着時・舗設時で管理・記録され、また運搬時の品質保全対策（シート等）も実施されている。 <input type="checkbox"/> プライム及びタックコートがむらなく散布されている。また目地及び接合部等へも刷毛等で丁寧に塗布されている。 <input type="checkbox"/> 上層路盤工でプルフローリングを行い、必要に応じてベンケルマンビームまたは平板載荷試験等で確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めでは、散水等により含水比調整を行い施工している。（表面の乾燥状態で目視的判断を行うこと。） <input type="checkbox"/> 上層路盤に過度の材料分離が見られない。または、工事写真等で粒度調整を行ったことが分かれば評価対象とする。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めの仕上がり厚は標尺等で写真確認でき、写真から転圧状態の良さが窺える。 <input type="checkbox"/> 舗装に影響が発生しないように、構造物周辺等の締固めを適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 初期転圧を品質証明書で示された最適温度で施工している。 <input type="checkbox"/> 舗設後直ちに交通開放を必要とする現場で、路面温度が50℃以下であることを確認し、交通開放を適切に行っている。 | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|------------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | インターロッキング・レンガ等舗装 | <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 流用土を使用する場合、土質試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤工のブルフローリングを行い、ベンケルマンビームまたは平板載荷試験等で確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 地下水対策及び雨水対策が講じられ、適切な作業環境で施工している。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤の締固めでは、散水等により含水比調整を行い、施工している。（表面の乾燥状態で目視的判断を行うこと。） <input type="checkbox"/> 路床・路盤材料の種類及び品質が設計図書及び仕様書の規格を満足している。 <input type="checkbox"/> 路床・路盤の締固め施工厚は標尺等により仕様書どおりの施工が確認でき、写真から転圧状態の良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 上層路盤に過度の材料分離が見られない。または工事写真等で、粒度調整を行ったことが分かれば評価対象とする。 <p>【インターロッキング・レンガ等舗装】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 舗装の勾配は路盤面で確保し、仕上がり勾配も適切に確保している。（基準0.5%～2.0%） <input type="checkbox"/> クッション材は仕様書通りの厚さで敷均し転圧を行っている。 <input type="checkbox"/> 目地砂は、一次転圧後、再度充填し入念な施工をしている。 <input type="checkbox"/> 端部は、エンドブロックやカットブロックを使用し適切に施工されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 土砂排除工事（農地） | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 農地計画高が用・排水路高に対し問題ないことを確認してから、着手している。（報告書がなければマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 表土の土質は流用土・購入土に関係なく、監督員の承認した材料を使用している。（協議書があれば評価対象とする。） <input type="checkbox"/> 心土は透水性の低い材料を使用し平坦に仕上げ、耕起により、表土に砂利等が混入しないことが窺える。 <input type="checkbox"/> 土砂排除のみの工事では、表土に砂利及び雑木等の混入がない。（耕起に影響ありと判断した場合はマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 表土が購入土の場合は、表土に砂利や雑木等の混入がない。（検査時に確認できればマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 表土高が均平に仕上がっており、発注課指示の規格値（±25mm）以内である。 <input type="checkbox"/> 捨土や産業廃棄物（流木等）の処理が良好で、流出事故等の恐れがない。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 用排水管路工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 掘削が丁寧なされ、過掘り等による地山の乱れがない。または整形・仕上げ等により問題ない状態へ復旧している。 <input type="checkbox"/> 基礎砂・保護砂の敷き均し締め固め及び管下への突き込みが、適切な方法で施工されている。 <input type="checkbox"/> 基礎と埋戻し時にドライワークの確保ができています。 <input type="checkbox"/> 埋戻しが標尺で管理され、適切な機械で施工し、転圧状態も良い。（転圧痕を消していればマイナス評価） <input type="checkbox"/> 現場発生土が埋戻し土として不適切な場合、監督員と協議して良質土で埋戻している。 <input type="checkbox"/> 基礎面に調整砂を使用する場合は、必要最小限にとどめ、管下への充填等に有効利用している。 <input type="checkbox"/> 溶接や接着剤による接合は、異物を除去し、清掃後に適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 管及び弁等の接合においてボルトの締め付けが、規定トルクで適正に締付けられている。 <input type="checkbox"/> 管水路の通水試験が適性に検査されており許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 管を90度曲げ施工している場合は、継手の抜け防止策を講じている。 <input type="checkbox"/> ゴムリングの位置やジョイント間隔の確保ができています。 <input type="checkbox"/> 切管の処理及び使用箇所については、仕様書等に従って適切に施工している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 水路工事 | <p>【基礎工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基礎面の清掃を行った後、敷きモルタルを凸凹がないように施工していることが、施工状況及び完了写真から窺える。 <input type="checkbox"/> 基礎砕石及び基礎コンクリート等は、基礎地盤を均一に保ち支持力を均等に得るための施工となっている。 <p>【水路布設工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。また、過掘り等に対しては埋戻し転圧を行い、元の状態に復旧している。 <input type="checkbox"/> 水替え等の処置により、埋戻しに悪影響を与えていない。また、埋戻し材の土質及び含水比については配慮している。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土では1層施工厚が確認できるように標尺の設置等配慮し、適切な転圧機械で施工している。 <input type="checkbox"/> 水路布設前に継手掘りを行ったことが、施工写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の保管・吊り込み・据え付け等に十分注意を払っていることが、施工状況写真から窺える。 <input type="checkbox"/> 不等沈下等による変形がなく、地下水位の高い箇所では浮力対策を講じている。 <input type="checkbox"/> 樹との接続及び断面変化部の接合は適切に行われている。また、曲線部の開きについては現場打ち処理で漏水がないように施工している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の考査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|----------------|---|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 暗渠排水工事 (農地) | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基面を乱さないように、掘削を丁寧に行っている。 <input type="checkbox"/> 工区内の地表水及び地下水を排除しドライの状態で行っている。ただし、基礎材投入後に地下水が見られなければ評価対象とする。 <input type="checkbox"/> 湧水調査に従い、導水管と暗渠排水管を適切に配置し、施工している。ただし、暗渠排水管の密度不足はマイナス評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、表土を剥ぎ取りしており、埋戻しにおいて表土に不良土混入が見られない。 <input type="checkbox"/> 暗渠排水工のドレーン材及び吸出し防止マットが、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 心土復旧のため、入念な転圧がされている。 <input type="checkbox"/> 埋戻しは埋戻し材の含水比を確認し、標尺による施工厚の確認を行いながら、適切な締固め機械で転圧している。 <input type="checkbox"/> 排水路接合部の削孔及びモルタル復旧は、きめ細やかな施工がされている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 可動ゲート工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のため、製作着手前に技術検討が行われ、結果報告書を提出している。 <input type="checkbox"/> 材料や部品の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認でき、設計品質を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、設計品質を満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接は溶接資格を有したものが行い、母材の材質に適した溶接(ステンレス:TIG溶接、鉄:アーク溶接)を行っている。 <input type="checkbox"/> 現場溶接の場合は現場溶接報告書を提出し、溶接漏れや不備及び溶接部によるひずみが性能に影響を与えていない。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 柵工、筋工、伏越工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各工種の施工に適した法面整形、階段切付が行われており、障害となる根株、転石等が除去されている。 <input type="checkbox"/> 雨水等による崩落を防止するため排水対策が実施されている。 <input type="checkbox"/> 端部における地山とのすりつけにきめ細かい注意がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 植生の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 植栽木に損傷や病害虫がなく、植栽、施肥の施工にあたり、苗木の生育に配慮した丁寧な施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 背面土の流失防止に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 籠マット・フトン籠工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基面を水平に仕上げている。基盤が脆弱地盤等の場合は良質材に置換した後、基面を水平に仕上げている。 <input type="checkbox"/> 籠は指定された鋼線径・網目等を使用している。 <input type="checkbox"/> 指定された栗石(径)を均等に敷き並べ、空隙が最小限になるように丁寧に施工している。また、上部の高さ調整(小径の栗石や砕石)については監督員の承認を得たうえで、必要最小限にとどめている。 <input type="checkbox"/> 籠の変形を防止するため、型枠等の補強材を併用して施工している。 <input type="checkbox"/> 吸い出し防止マットを適切に設置している。また、河川等で使用する場合は、腐食に強いものを使用している。 <input type="checkbox"/> 適切な根入れと杭設置により安定性が確保されている。また、河床低下の恐れがある場合は保護措置を講じている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 林道工事(軽微) | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 伐開・伐根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。(現場内処理の場合は地権者の承諾が必要) <input type="checkbox"/> 掘削土砂等は、過掘により床掘面を乱さないように丁寧に漉き取り、適切な場所に搬出している。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤が急勾配の斜面では、法面の崩壊や不等沈下の防止のため段切等適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 盛土中の暗渠・管等の構造物のある場合は偏圧がかからないよう施工し、盛土内排水も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 道路の線形及び路盤等は、地形条件を十分に配慮し、適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 着手前に、崩壊、湧水及び土質変化等を調査確認し、適切な排水対策が実施されている。 <input type="checkbox"/> 地すべり、崩壊等のある場合は、監督員に報告の上、適切な予防方により工夫され施工されている。 <input type="checkbox"/> 使用機械により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。 <input type="checkbox"/> 排水施設は地形条件を十分に配慮しており、流末及び自然放流先についても適切な位置を選定している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に従った法面勾配が確保され、法面の緑化も図られている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----------|--------------------------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 木材木製品工事 (木橋、木土留工、 木流路工等) | <input type="checkbox"/> 木材・木製品の品質が良好で(曲り等がない)設計図書に基づき適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 組み立て等のボルト等の締め付けが確認できる。 <input type="checkbox"/> 木材・木製品どうしの接続が良好で規定どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 部品・材料等の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認できる。 <input type="checkbox"/> 木材・木製品による地山及び構造物との取り合いまたはすり付けは良好に施工されている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 鋼橋工事 | | 【工場製作関係】 <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 【架設関係】 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーション(検定、調整)を実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切勾配がついている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 橋・伸縮装置工事 | | <input type="checkbox"/> 伸縮装置の位置決定は、既存位置と施工時の温度・設計時の標準温度を検討し決定している。 <input type="checkbox"/> 既設撤去においては、既設橋台パラベット及び主桁に影響を与えないよう慎重に施工している。 <input type="checkbox"/> 伸縮装置工の漏水防止方法については、設計図書に適合したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 基層に先立ち、拡幅縦目地へのクラック防止が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 上部表層が設計厚を確保できるように、レベリング層としての基準高管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 適切な橋面排水を確保するため、橋面全体にプライマー塗布や排水処理が行われている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 床版補強工事 | | <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、床版のクラック状況を調査して監督員と協議を行い、施工漏れのない補修工事となっている。 <input type="checkbox"/> 床版接着面の不陸調整として、サンダーケレンでレイタンス・遊離石灰を除去し、シンナー等で清掃している。 <input type="checkbox"/> アンカーボルト取付け穴の位置が鋼板と一致するように、正確にマーキングして施工している。 <input type="checkbox"/> 鋼板とコンクリートとの接合面にある油脂及びゴミ等をアセトン等により適切に処理している。 <input type="checkbox"/> シールした樹脂の接着力が注入圧力に耐えられるまで養生していると同時に、隙間に十分ゆきわたるように施工している。 <input type="checkbox"/> 鋼板塗装は塗装面が乾燥状態で施工していることが確認でき、設計図書どおりの塗膜厚が確保されている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 地覆・高欄工事 | | <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の供試体を当該現場と確認できる形で採取し、強度・スランプ・空気量等の試験結果に問題がない。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に配慮し、運搬時間や打設時の投入高さ等適切に施工している。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。) <input type="checkbox"/> 締固めバイブレーターの機種及び施工方法、養生方法及び養生日数等が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 型枠及び支保工が堅固に設置され、取り外し時のコンクリート強度(最低5N以上)も適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認でき、引張・曲げ強度が試験値で確認できる。また、保管管理も適切で過度のさびもない。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正(適切な結束及び必要定着長の確保)であることを確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接及び溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行い、圧接及び溶接施工上の注意事項(共通仕様書)が守られている。 <input type="checkbox"/> 既設コンクリートの取壊しにあたり、カッター及び取壊しが丁寧に施工され、既設コンクリート及び鉄筋に影響がない。 <input type="checkbox"/> 既設コンクリート及び鉄筋の接合部において、適切な清掃等の処理が行われ、接続不良の懸念がない。 <input type="checkbox"/> 高欄の設置にあたり、ボルトの締付けが適正でガタツキがない。また、締付けトルクの管理も行っている。 <input type="checkbox"/> スペースの材質が適正である。また、スペースを適切に設置し、鉄筋のかぶりを確保している。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|--------------------------|---|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 橋梁維持修繕工事 (防錆塗装、断面修復等) | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工に先立ち剥離箇所、クラック状況等を調査して監督員と協議を行い、施工漏れのない補修工事となっている。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の管理のもと施工している。 <input type="checkbox"/> 材料を使用前に配合の管理を行ってから攪拌していることが確認できる。また、材料の空袋等の管理が写真等で確認できる。 <p>【断面修復工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既設コンクリートの取壊しにあたり、カッター及び取壊しが丁寧に施工され、既設コンクリート及び鉄筋に影響がない。 <input type="checkbox"/> 既設コンクリート及び鉄筋において、適切な清掃等の処理が行われ、施工不良の懸念がない。 <input type="checkbox"/> ケレン(素地研磨)が入念に実施され、錆の除去が完了している。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物や傷等がない。 <input type="checkbox"/> モルタル施工時の供試体を当該現場で採取し、強度試験結果に問題がない。 <p>【ひび割れ注入工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 接着面の不陸調整として、サンダーケレン等でレイタンス・遊離石灰を除去し施工表面を清掃している。 <input type="checkbox"/> シールした樹脂の接着力が注入圧力に耐えられるまで養生しているとともに、隙間に十分ゆきわたるように施工している。 <p>【防錆塗装工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既設コンクリート及び鉄筋において、適切な清掃等の処理が行われ、施工不良の懸念がない。 <input type="checkbox"/> ケレン(素地研磨)が入念に実施され、錆の除去が完了している。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物や傷等がない。 <p>【モルタル充填工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> モルタル施工時の供試体を当該現場で採取し、強度・Jロート(流動性)の試験結果に問題がない。 <input type="checkbox"/> 施工写真から充填が確実に行われていることが確認できる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 組立歩道設置工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 掘削が丁寧で、過掘り等により地盤を乱していない。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤の状態が良く、設置位置も安定箇所にあることが監督員の立会いで確認されている。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリートが、設計図書のとおり施工され安定していることが監督員の立会いで確認されている。 <input type="checkbox"/> 床板部は、製品の施工要領に従って適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 縦・横目地は、所定の材料を用いて、歩道面に合わせて適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 転落防止柵は、所定のボルト・ナットで緩みなく固定され、グラつきなく安定している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 公園遊具新設工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 部材等の品質が、SP表示認定企業認定証で確認できる。また、製造年月日等も確認できる。 <input type="checkbox"/> 安全性(特に物的ハザード)を重視して施工している。 <input type="checkbox"/> 設置高に注意し、ひずみ・ゆがみ・振れのないように支柱や仮溶接により固定した後、監督員の段階確認承認後に基礎固めを実施している。 <input type="checkbox"/> 締め付けボルトとナットの軸接合では、確実に座金・止めねじ・割りピンを使用している。 <input type="checkbox"/> 遊具の安全領域内は障害物及び危険物を除去し、水はけ良く地均しし、十分転圧している。 <input type="checkbox"/> 腐食や腐れの影響を受けやすい地際部は、防蝕及び防腐措置を講じている。 <input type="checkbox"/> 遊具の使用に対し、使用及び利用対象年数があるものは、目立つ場所に商標シール等を貼りつけている。 <input type="checkbox"/> 保証書が提出されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | テニスコート工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 表層材料は設計図書に示された品質と同等以上であり、不純物を含んでいない。 <input type="checkbox"/> 表層土施工に先立ち下層面をレーキで浅く掻き均し、表層土とのなじみを良くしている。 <input type="checkbox"/> 表層土については均一に敷均し、散水により最適含水比を保ちながら転圧及び不陸整正を繰り返し、均平に仕上げている。 <input type="checkbox"/> 化粧土は転圧とブラッシングを繰り返して仕上げている。 <input type="checkbox"/> 表層安定剤を散布する場合は、適度の散水を行いながら転圧している。 <input type="checkbox"/> テニスポスト及び付属品は所定の規格品を使用し、強度・接合部・水抜き等の処置が適切に行われている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|---------|--|---|-----------------------------|--|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | グラウンド工事 | <input type="checkbox"/> 下層工は、路盤材（ボラ土等）を所定の勾配で均平に敷均し、入念に転圧している。（指定機械の場合、機種・重量を管理していなければマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 表層工は、表層材（真砂土等）を所定の勾配で均平に敷均し、入念に転圧している。（指定機械の場合、機種・重量を管理していなければマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 表層工の仕上げはH鋼等による牽引仕上げを行っており、全体的に平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 表層工の仕上げとして、化粧砂、表層安定剤を均一に散布している。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺は、適切な締固め機械で施工しており、転圧状態も良い。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | バックネット工事 | <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支柱は設計書通り（径・高さ・材質・基礎構造）に施工されている。 <input type="checkbox"/> ネットは設計書通り（ネット径・高さ・材質・網目規格・固定方法）に施工されている。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が見られない。 <input type="checkbox"/> 埋戻しは標尺により1層施工厚が確認でき、締固め状態も良好である。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 衝撃緩衝工事 （野球場壁面等） | <input type="checkbox"/> 下地処理（清掃及び補修等）が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 接着剤を塗布する面が乾燥状態である。また、重ね塗りの場合は時間管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候・気温・湿度等の気象条件が整理・記録され、適切な日に施工されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 接着剤塗布後、所定の乾燥時間を経過した後に衝撃緩衝材及びゴムシートを接着している。 <input type="checkbox"/> 接着剤塗布面に有害な付着物がない。または、風速5m/S未満の風の弱い日に施工していることが記録からわかる。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 金属施設工事 （フェンス等） | <input type="checkbox"/> 工場製作部品の場合、製作状況の写真管理及び品質管理が行われ、製造年月日も確認できる。 <input type="checkbox"/> 安全性に配慮し、適正な位置に設置している。 <input type="checkbox"/> 柵高は目的に応じた高さが確保され、支柱はひずみ・ゆがみ・ブレがないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締め付けボルト・ナットの軸接合では、座金・止めねじ・割リピンを使用している。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が見られない。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 植栽工事 | <input type="checkbox"/> 植え付け時、吊り込み機械を安定した箇所に設置している。また吊り込みによる幹及び枝等への傷も見られない。 <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し、施工に反映させている。 <input type="checkbox"/> 根系の発達が良く四方に均等に配分され、根鉢範囲に細根が多く、乾燥していないことが写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉢崩れのないよう根巻やコンテナ等により固定されている。また、ふるい掘りでは、特に根部の養生を十分にするなど（乾き過ぎていない）根の健全さが保たれ、損傷がない。 <input type="checkbox"/> 正常な葉形、葉色、密度（着葉）を保ち、しおれ（変色、変形）や軟弱葉がなく、生き生きしている。 <input type="checkbox"/> 樹皮に傷がないか、その痕跡がほとんど目立たず、正常な状態を保っている。 <input type="checkbox"/> 徒長枝がなく、樹種の特性に応じた枝の姿を保ち、枯損枝、枝折れ等の処理、及び必要に応じ適切な剪定が行われている。 <input type="checkbox"/> 病害虫の発生がない。過去に発生したことのあつたものにあつては、発生が軽微で、その痕跡がほとんど認められないよう育成されたものである。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 小規模植栽工事 | <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 植栽材料は、現場搬入後植付ける前に現場検収を受けて適否の判断がされている。 <input type="checkbox"/> 樹木等を現場に搬入した後、細根等が乾燥しないよう適切に保管・処置されている。 <input type="checkbox"/> 支柱等による風対策と水鉢による活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 植付け時期に配慮した余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根にふれないよう、根の外周部に均一に施肥されている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|-------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 植栽張芝工事 | <p>【資材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 病害虫・雑草等の混入がなく、葉茎が緻密に繁茂した優良品で定型の土付き野芝を使用している。 <input type="checkbox"/> 芝付けを行うにあたり、所定の勾配(2%以上)で不陸整正し、芝の生育に適した土を敷き均し締固めている。 <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現場に搬入した芝は速やかに芝付けし、根の活着を保護するため、1枚当たり4本の目串で固定している。 <input type="checkbox"/> 長期間直射日光や雨等にさらしたり、積み重ねて枯死しないように養生している。また、不良品は使用していない。 <input type="checkbox"/> 張芝後、ローラー(250kg内外)転圧又は土羽板で叩いて培土と密着させていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 目地土及び衣土にはフルイを通した細土を用い、湿気のあるものを表面に均一(芝が半分隠れる程度)に散布している。 <input type="checkbox"/> 夏季における散水は、日中を避け、朝又は夕方に行ったことが確認できる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 播芝工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プルフローリング等により下層路盤の転圧状態の良さを確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生基盤で土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し、生育に適した基盤で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 病害虫の発生がない。 <input type="checkbox"/> 雑草等の混入が殆どない。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が設計図書規定のものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 十分な灌水により養生したことが写真等により確認できる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | テニスコート人工芝工事 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が設計図書と合致している。 <input type="checkbox"/> 事前にクラック補修範囲を調査測量し、支障ある場合は監督員と協議し、文書指示を受けている。 <input type="checkbox"/> クラック補修及び不陸調整は樹脂モルタルでコテ仕上げが行われ、表面が均一に施工されている。 <input type="checkbox"/> 人工芝の割付・重ね合わせを十分検討し設置している。また、接着部分についてはジョイントテープを敷き、接着剤を均一に塗布し、シワが出ないようにシームされている。 <input type="checkbox"/> 接着部はローラ等で転圧し、十分養生されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 砂充填は空袋管理で散布量が確認できるとともに、スプレッタ等により均一に散布・充填されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 地下排水工事(公園等) | <p>【資材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた透水係数に適したフィルター材が選定されている。 <input type="checkbox"/> 設置位置は設計図書と現場状況を勘案して決定し、布設面は不透水性層もしくは不透水層となるように転圧処理している。 <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 暗渠排水管に変形・損傷を与えないよう、施工方法に配慮が窺える。 <input type="checkbox"/> 端部処理において、目詰まり等が発生しないように処理されていることが確認でき、接続排水路天端に湧水が見られない。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた勾配通りに設置されていることが確認できる。(たわみがあればマイナス評価) <input type="checkbox"/> フィルター材及び埋め戻しは0.2m以下に敷き均し、管に過度の荷重及び偏荷重がかからないように入念に施工している。 <input type="checkbox"/> 排水路への接続は底盤より0.1m以上の段差を確保している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|---------------|--|-----------------------------|---------------------------|---|--|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 上水道工事 | <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 連結工事、断水、通水、洗管作業が計画通りに行われている。 <input type="checkbox"/> 指定仮設が設計図書通り、または文書協議の承認通り施工されている。（部分的な仮設工事の場合） <input type="checkbox"/> サドル設置及び仕切弁・消火栓・空気弁等の組立てが適切であることが、施工状況写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 横断構造物の下越し等で離隔管理を行っている。規定離隔が確保できない場合は打合せ簿協議により、指示に従った保護措置を講じている。 <input type="checkbox"/> 既設管との接続状況が確認でき、その接続状態も良好である。 <input type="checkbox"/> 都城市指定給水装置工事事業者の「給水装置工事主任技術者」が配置され、給水工事が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 仕切弁、消火栓及び空気弁の、蓋の位置及び蓋の開方向に問題がない。また、消火栓については、設置高さも問題がない。 <p>【PE管】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1路線1箇所以上は融着状況を段階的に撮影している。（管の切削、清掃、固定、融着状況等の一連の作業の写真管理がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 全ての接合箇所を融着完了を確認できる。（継手番号・融着終了時刻・インジケータ・クランプ取外し時刻の写真管理及び継手チェックシートがなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 管の切断は所定のパイプカッターを使用している。（作業工程がわかる写真が1路線1箇所以上なければ、マイナス評価） <p>【塩ビ管】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生曲げ配管は行わず、継手曲げ角度は2°以内で施工している。 <input type="checkbox"/> 管防護が適切に行われていることが写真で確認できる。（標準仕様書1-21、1-22） <input type="checkbox"/> 1路線1箇所以上は接合状況を段階的に撮影している。（管清掃、標線、滑剤又は接着剤塗布等の一連の作業の写真管理がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 全ての接合箇所を接合完了を確認できる。（継手チェックシート及び接合完了写真がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 切管処理（面取り等）が適切に行われていることが確認できる。（作業工程がわかる写真が1路線1箇所以上なければマイナス評価） <p>【鋳鉄管】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 継手曲げ角度は、許容曲げ角度の1/2以内で施工している。 <input type="checkbox"/> 管防護が適切に行われていることが写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 1路線1箇所以上は接合状況を段階的に撮影している。（管清掃、滑剤塗布、専用器具を用いた管挿入等の一連の作業の写真管理がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 全ての接合箇所を接合完了を確認できる。（継手チェックシート及び接合完了写真がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 切管処理（面取り・塗装等）が適切に行われていることが確認できる。（作業工程がわかる写真が1路線1箇所以上なければマイナス評価） <input type="checkbox"/> ボルトの締付けが、規定トルクで適正に締付けられていることが確認できる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| | さく井工事（ロータリー式） | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> さく井やぐらの、安定性・安全性に問題ない。 <input type="checkbox"/> 井戸の垂直性を確保するため、試錐機の据付が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ケーシング（井戸パイプ）等の井戸資材の規格が、品質証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> さく井完了後、電気検層を行い、スクリーン（吸水管）設置位置について監督員と協議している。 <input type="checkbox"/> ケーシング等の垂直が管理されている。 <input type="checkbox"/> 溶接棒の選定が適正で、接合作業をチェックシート等を用い適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 充填材が設計図書と適合しており、充填が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 洗浄作業が仕様書どおり適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 揚水試験が仕様書どおり適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 設計図書に目標揚水量がある場合、揚水試験結果により揚水量が確保されている。（加点項目） <input type="checkbox"/> 報告書は、必要事項が記載され、見やすく作成されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| | 水管橋 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 鋼材部品等の品質低下及び管内異物混入防止のため、適切に保管している。 <input type="checkbox"/> 足場等の指定仮設が契約図書通り施工されている。また高所作業においては安全帯を確実に着用している。 <input type="checkbox"/> 据付基準線及び基準高は図面通り施工されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行い、溶接施工上の注意事項（共通仕様書）が守られている。 <input type="checkbox"/> 鋼材部品等の設置においてボルトの締付けが適正に行われ、ガタツキもない。 <input type="checkbox"/> 鋼材に品質低下を懸念するような腐食がなく、腐食があった場合は診断報告書が提出されている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |
| | 橋梁添架工事（ポリ管） | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 足場等の仮設が適切に施行されている。また、高所作業においては安全帯を確実に着用している。 <input type="checkbox"/> 橋梁の取り付け面の鉄筋位置を探索したうえで、削孔位置を決定している。 <input type="checkbox"/> 支持金具及びボルト類が適切に取り付けられており、空気弁の位置では支持間隔を狭める等の補強が施されている。 <input type="checkbox"/> アンカー工に対して引張試験を実施して支持力を確認している。 <input type="checkbox"/> 切管に際して外装のみを先行切断する場合に、切り過ぎが生じないよう慎重に計測、標線設置、作業を行っている。 <input type="checkbox"/> 融着面の切削（スクレーブ）にあたっては、外装を傷つけないよう注意して行っている。 <input type="checkbox"/> 冷却後、融着端子を外装の高さで切除し、インジケータとともに全て隠れるように保護シールを貼り付けている。 <input type="checkbox"/> 内管（ポリエチレン管）を紫外線から保護するため、一部でも露出しないよう防食措置を講じている。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> | <p><input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。</p> |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|---------|---|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 推進工主体工事 | <input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> マンホール等の吊り込み及び据付の際に常に十分な注意を払っている。 <input type="checkbox"/> 滑剤注入量が適正であり、また裏込めモルタルにおいては適正な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ゴム輪などの継手材料が適正でかつ適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェック等が行われており、かつ安全であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管布設高の精度管理が行われており、中心線の通りも良い。 <input type="checkbox"/> 推進月報（日施工量・施工精度管理）が提出され、沈下防止等に注意を払って施工している。 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ライナープレート土留め材は、設計図書に適合したものを使用している。 <input type="checkbox"/> 初期掘削及び二次掘削以降のプレート設置方法（1リング毎）が、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 継目が縦方向に通らないように交互に設置され、ボルト締付けにおいて規定のトルクが確保されている。 <input type="checkbox"/> 鏡切においては、事前に崩壊防止のための補強措置を行っている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 下水道工事 | 【共通】 <input type="checkbox"/> 掘削を丁寧に行い、過掘り等による地山の乱れがない。または整形・仕上げ等により問題ない状態へ復旧している。 <input type="checkbox"/> 水替えが適切に行われ、ドライワークが確保されている。 <input type="checkbox"/> 埋戻しが標尺により施工厚を確認でき、適切な施工機械で施工し、転圧状態も良い。（転圧痕を消していればマイナス評価） <input type="checkbox"/> 埋戻し転圧困難部の水締めは監督員の承認を受けて実施している。また水の使用量も適切である。 <input type="checkbox"/> マンホール等の設置において2m以上の高所作業となった場合は、安全帯の着用等、安全対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 埋戻し振動等による路盤部の崩落がない。0.1m以上のオーバーハング状態に対しては、切り崩し措置を講じて埋戻しに影響が生じないようにしている。 <input type="checkbox"/> 簡易土留めの引抜部・管下・マンホール周辺等、埋戻し材の充填及び転圧が適切に行われていることが確認できる。 【開削工】 <input type="checkbox"/> 基礎工で使用される調整砂は必要最小限の使用となっており、管下への充填にも有効利用されている。 <input type="checkbox"/> 管の挿入方法及び挿入量が適切に行われており、中心線の通りが良く、たわみ（小規模で数が少なければ対象外）もない。 <input type="checkbox"/> マンホールの組立て及び接合状態が良く、各部材にクラック等の損傷もない。 <input type="checkbox"/> マンホールの足掛金物の位置・方向が適正であり、鉄蓋設置においては設置高及び設置勾配も適正である。 <input type="checkbox"/> 副管や支管の施工状況が適切で埋戻し状況も写真管理されている。また、管内に接合剤の盛り上がりも見られない。 <input type="checkbox"/> 切管の処理が適切で、特記仕様書等で定められた位置に使用している。 <input type="checkbox"/> 管とマンホールの接合が適切に行われ、マンホール内に異常が見られない。 <input type="checkbox"/> 公共樹は地権者の承認を得て施工しており、埋戻し転圧・設置高・コンクリート復旧等問題ない。 <input type="checkbox"/> バックホウの吊り機能の確認や吊り具の確認等問題がなく、マンホール等の吊り込み・据付作業において十分注意を払って施工している。 【簡易推進工】 <input type="checkbox"/> 漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管布設高が精度管理されていることが確認でき、中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入材及びスペーサー規格が適正であり、適切な配合のもと、設計注入量が注入されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼製カラー、ゴム輪などの継ぎ手材料が適正でかつ適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェックなどが行われており、かつ安全であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各段階毎に監督員の段階確認を受けまたは報告を行い、承認後に次の段階に進んでいる。 <input type="checkbox"/> 鏡切においては、事前に崩壊防止のための補強措置を行っている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 管きよ更生工事 | <input type="checkbox"/> 採用した工法について、構造機能、流下機能等が仕様を満足していることを確認できる資料が提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、既設管きよ内の洗浄が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、既設管きよ内を目視（写真の記録が必要）又はTVカメラによる調査・報告を行い、支障となる突き出し等がある場合は適切に前処理を行っている。 <input type="checkbox"/> 反転・形成工法の場合、更生材の挿入速度や硬化時間のほか、温度センサーや圧力センサーによる温度・圧力管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 製管工法の場合、裏込め材の注入量や注入圧力等の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 既設管きよに損傷や変形等があった場合、シワや段差により流下機能を損なわないために平滑になるよう適切に施工している。 <input type="checkbox"/> 反転・形成工法での被覆状態や製管工法での嵌合状態を、全スパンにわたりビデオ映像で確認できる。 <input type="checkbox"/> 本管口切断及び取付け管口の穿孔は、更生材又は裏込め材が十分に硬化した後で行っている。 <input type="checkbox"/> すべての取付け管口について、既設管口とずれなく開けられていることが写真又はビデオ映像で確認できる。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|--------------------|--|--|---------------|--|--|---|
| | | 90%以上 | 80%以上90%未満 | 60%以上80%未満 | 60%未満 | |
| | | 品質管理が適切である。 | 品質管理がほぼ適切である。 | 他の項目に該当しない。 | 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 塗装工事 | <input type="checkbox"/> ケレン(素地研磨)が入念に実施され、錆の除去が完了している。また、錆が進行している場合は、溶接等適切な処理を行っている。 <input type="checkbox"/> ケレン作業後4時間以内に塗装を開始していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等が管理され、塗装面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合は、時間管理が必要) <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に沈殿していないことが確認できる。また、塗料の空き缶管理が、写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装前及び塗装中の換気は十分に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場塗装の場合、塗料方法(刷毛、ローラー、スプレー等)が協議され、協議内容に即した作業が行われている。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物や傷等がなく、1層毎に塗膜の厚さ管理も行われている。 ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| 耐水性貯水槽工事 (二次製品) | 【共通及び基礎工】 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が(財)日本消防設備安全センターの認定基準及び試験・判定基準に全て適合している。 <input type="checkbox"/> 基礎地盤は土質試験等により、地盤の安定度が確認されている。もしくは監督員の段階確認で施工承認(文書)を得ている。 <input type="checkbox"/> 掘削断面は土質に応じた安定勾配で切土整形されている。(指定仮設を施工している場合は別途評価する。) <input type="checkbox"/> 基礎地盤の不良土質は置換等により、均一化を図っている。(提案していれば評価対象とする。) <input type="checkbox"/> 基礎栗石を均等に敷き並べ、空隙充填材の適切な充填と適切な転圧機械による転圧により、支持力を均等に得る施工となっている。 <input type="checkbox"/> 基礎コンクリートの施工状況及び仕上がりが良く、躯体設置前に敷きモルタルを均等に敷設している。 【埋戻し工】 <input type="checkbox"/> 土留め材の引抜部への埋戻し材(砂及びシラス等)の充填及び転圧が確認できる。 <input type="checkbox"/> 標尺等により1層仕上げが厚が確認でき、両側の埋戻しを同時施工している。 <input type="checkbox"/> 埋戻し幅に応じた転圧機械を使用し、最適含水比等に配慮するなど適切に転圧し、転圧状態も良好である。 <input type="checkbox"/> 圧縮性が低かつ透水性の良い材料で埋戻している。現場発生土を使用した場合は土質及び含水比等、監督員の承認を得ている。 <input type="checkbox"/> 湧水がある場合は、監督員の指示を受けて施工している。 <input type="checkbox"/> 転圧完了面の転圧痕により、転圧状態の良さが窺われる。(仕上げ転圧等、転圧痕が確認できない場合はマイナス評価とする。) 【躯体設置工】 <input type="checkbox"/> 集水ピットホール部が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 躯体の吊り込み及び据え付け等に指示者(誘導員等)を配置するなど注意を払って施工している。 <input type="checkbox"/> 緊張において仮緊張後に本緊張を行うなど、緊張の順序が守られている。 <input type="checkbox"/> 縦締め用PC鋼材の緊張においては、全ての緊張箇所が緊張力を写真管理している。もしくは段階確認で監督員の確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 縦締め緊張終了後、速やかにグラウト材を注入している。 <input type="checkbox"/> 全てのグラウト注入箇所がグラウト材の吐出を写真管理している。もしくは段階確認で監督員の確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 接続部及び切欠き部には無収縮モルタル等を充填し、表面を滑らかに仕上げている。 <input type="checkbox"/> 蓋の設置高が良好で設置位置も駐車帯に位置していない。(蓋が路面より低い場合や開閉に支障がある場合はマイナス評価) ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |
| 土堰堤工事 (処分場等) | <input type="checkbox"/> 湧水及び排水による崩壊が起こらないように、排水対策を講じている。 <input type="checkbox"/> 滑りが懸念される盛土部では、段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 土羽面の盛土材は、植生に配慮した土を使用している。 <input type="checkbox"/> 盛土は地下水や雨水の影響を受けないように工夫し、最適含水比による締固めを施工幅に応じた機械で適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 盛土は堤軸方向に水平に施工している。 <input type="checkbox"/> 堤体法尻部は、軟弱土砂の撤去及び有機物の除去後に基礎地盤の整形を丁寧に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場発生土を使用する場合は、土質(必要に応じてCBR試験)及び含水比を確認の上施工している。もしくは監督員の確認及び承認を得ている。 <input type="checkbox"/> 盛土施工においては標尺を設置し、所定の施工厚以内で施工している。 <input type="checkbox"/> 盛土転圧完了面の転圧痕により、転圧状態の良さが窺える。(転圧痕をなくす目的で仕上げ転圧等を行って行けば、マイナス評価) <input type="checkbox"/> 狭幅部及び端部の転圧困難箇所も適切に施工したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 築堤については余盛転圧を行い、削り取り仕上げを行っている。(土羽打ちバケットによる仕上げのみは、マイナス評価) <input type="checkbox"/> 密度試験結果報告書により、規定以上の密度が確保されていることが確認できる。(監督員指示があった場合のみ) ※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率(%)で評価する。 | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|----|--------------------|--|-----------------------------|---------------------------|--|---|
| | | 90%以上 品質管理が適切である。 | 80%以上90%未満 品質管理がほぼ適切である。 | 60%以上80%未満 他の項目に該当しない。 | 60%未満 品質管理がやや不備である。 | 品質管理が不備である。 |
| 品質 | 遮水シート等設置工事 | <p>【資材等】</p> <input type="checkbox"/> 遮水シート等の品質が、設計で要求している品質規格（引張強度・厚・伸び率）と同等以上を使用している。 <input type="checkbox"/> 材料は施工計画書に示された保管管理計画の通り、保管管理されている。 <p>【施工】</p> <input type="checkbox"/> 十分な経験を有する技術者及び技能者が施工している。 <input type="checkbox"/> 下地面は礫や突起物を除去したあと適正機械で十分に締め固めている。また、仕上がり面は所定の勾配で平坦に仕上げている。 <input type="checkbox"/> シートの接合は施工前に強度試験を行い、監督員の承諾を得ている。 <input type="checkbox"/> シート敷設は温度差による伸縮を十分考慮した施工方法となっている。また結露対策についても十分配慮している。 <input type="checkbox"/> 接合完了後、加圧試験やスパーク試験等により接合状態を確認している。接合不良箇所については、監督員に報告の上、補修を実施している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 仮設工事（土留め等） | <input type="checkbox"/> 仮設材のそり、ゆがみ等の変形及び損傷についてチェックシートにより管理されている。 <input type="checkbox"/> 仮設材の設置が設計図書通りに施工されている。また指定仮設の変更等については文書で監督員の承諾を得ている。 <input type="checkbox"/> 仮設材の撤去は所定の高さごとに行われ、引抜部への埋戻し材の充填及び転圧を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 施工途中で腹起し等の一次撤去が必要となった場合でも、保護措置等により安全性は確保されている。 <input type="checkbox"/> 覆工板等により道路解放を行う場合、解放前に段階確認等により監督員の承諾を得ている。 <input type="checkbox"/> 土留めの変更及び新規提案に際し、安定計算書を添付し協議している。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |
| | 仮設工事 （ライナープレート） | <input type="checkbox"/> 1段目組み立てにあたり、基面の水平を確認している。また、1段目は基準になることから溶接等により、固定している。 <input type="checkbox"/> 2段目以降は順次掘り下げながら1段ごとに組み立て設置している。 <input type="checkbox"/> ライナープレート背面部の空隙は適切な材料で充填している。 <input type="checkbox"/> 鏡切り対象のライナープレートは、設計どおりの補強措置を講じてから施工している。 <input type="checkbox"/> 撤去と埋戻し転圧は連動し、1層締め厚及び適切な転圧完了状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートに破損及び変形がないことがチェックシートにより確認できる。 <p>※ 選択した評価対象項目に対する該当項目の比率（%）で評価する。</p> | | | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 | <input type="checkbox"/> 品質管理に関して、検査員が修補指示を行った。 |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|-------------------|--|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | 土工工事(土工を別途評価する場合) | <input type="checkbox"/> 転圧状況と転圧完了がセットで撮影され、転圧痕により転圧状態の良さが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水対策を行い、仕上がり面に湛水や浸食等による影響がない。 <input type="checkbox"/> 盛土及び切土法面仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 残土処理を適切に行い、土砂流出等の恐れがない。(写真確認できなければマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 盛土工事(大規模) | <input type="checkbox"/> 全体的に野芝等の活着や種子の発芽状況が確認または予想できる。 <input type="checkbox"/> 法面勾配が設計図書等に従い、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 既設地山への摺りつけが良く、盛土面に雨水が集中しないように配慮されている。 <input type="checkbox"/> ブロック等、構造物への摺りつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックや沈下及びその兆候がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 切土工事(大規模) | <input type="checkbox"/> 指定された切土勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 根株等の産業廃棄物処理も適切に行われている。または地権者の承認を得た上で現場内処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われ、機能している。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 残土等は適切に処理され、苦情及び二次災害等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 補強土壁工事 | <input type="checkbox"/> 壁面材の端部等に鋼線のはみ出しがない。 <input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 土羽の仕上がり良く、表面に浸食の跡がない。雨水処理等の配慮が良く、流下水による表面浸食の恐れもない。 <input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 既設土羽面等のなじみが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 法面工事 | <input type="checkbox"/> 端部からの雨水浸入の心配がなく、植生吹付では表面浸食等も見られない。 <input type="checkbox"/> モルタル等吹付の状態が均一で施工時の気温管理と養生により、表面剥離及びクラック等が見られない。 <input type="checkbox"/> ラウンディング及び干渉部が確保され、端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> オーバーハング等に対する処理も良好で、構造的に安定感がある。 <input type="checkbox"/> 植生吹付では日照等の生育環境条件に配慮した配合設計が行われ、良好に生育もしくは生育が予想される。 <input type="checkbox"/> 水抜きパイプ及び目地を適切に配置し、パイプや目地が表面から大きく突出しておらず出来栄も良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 特殊法面工事 | <input type="checkbox"/> 施工精度が高い。 <input type="checkbox"/> すでに排水が機能しており、設置位置の正確さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | コンクリート構造物工事 | <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面にジャンカ及び材料分離がなく、肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。(法線等に対する改善提案を文書で行っていけば評価対象とする。) <input type="checkbox"/> 天端仕上げや面取り及び端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラック及び漏水がなく、打撃試験結果で全体的に設計以上の強度が確認できた。(強度発現不足はマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 既設構造物との接続状況が写真及び実地で確認でき、接続状態が良い。 <input type="checkbox"/> 補修等の痕跡がなく、土羽等とのなじみも良い。また、基礎部や土羽が雨水等の影響を受けないように工夫している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | ボックスカルバート工事 | <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良く、水の流れを乱さない(損失水頭の軽減)法線となっている。 <input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良く、漏水の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 目地仕上げ・切欠き穴埋等仕上げが良い。(写真管理がなければマイナス評価) <input type="checkbox"/> 資材の破損やクラックがなく、函内外面に補修痕もない。また、現場打ち部分の仕上がり良く、水の流れに影響を与えていない。 <input type="checkbox"/> 形状の違う接合部の段差及び榫等の接合が、漏水の恐れもなく、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 路体及び路床部の埋戻しが適切で、圧密沈下等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 製品は横方向に対し水平に布設され、均一な流れが期待できる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 環境護岸・ブロック積工事 | <input type="checkbox"/> 構造物の通り及び既設構造物等の接合状況が良い。 <input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良く、モルタル等による修正等が行われていない。 <input type="checkbox"/> 起点・終点部の既設構造物及び土羽との摺りつけが良い。過掘り部の復旧は土嚢等で施工されており、埋戻し土羽が安定している。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部の沈下及び変形がない。(盛土及び埋戻し部を歩いて沈下が見られればマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 湾曲部の製品開きについて協議を行い、指示に従った(現場打ち)施工がされている。 <input type="checkbox"/> 目地設置間隔は適切である。また、小口止め及び天端コンクリートにジャンカやクラックの異常も見られない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--|---|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | L型擁壁類工事 | <input type="checkbox"/> 擁壁面が揃っており、構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 天端（嵩上げを含む）にあばた等がなく、端部仕上げも良い。（補修痕があればマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 製品表面にクラック及びカケ・剥離等の損傷がない。 <input type="checkbox"/> 製品の直立状態に変形がなく、安定している。 <input type="checkbox"/> 地盤にクラックや沈下及びその兆候がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 道路側溝・管渠 ・自由勾配側溝工事 | <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良く、水の流れを乱さない（損失水頭の軽減）法線となっている。 <input type="checkbox"/> 材料の連結・かみ合わせが良く、漏水の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 目地仕上げ・切欠き穴埋等仕上げが良い。（写真管理がなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 資材の破損やクラックがなく、函内外面に補修痕もない。また、現場打ち部分の仕上がりが良く、水の流れに影響を与えていない。 <input type="checkbox"/> 形状の違う接合部の段差及び柵等の接合が、漏水の恐れもなく適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 路体及び路床部の埋戻しが適切で、圧密沈下等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 製品は横方向に対し水平に布設され、均一な流れが期待できる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 防護柵工事 | <input type="checkbox"/> 路肩が確保され、通りも良い。 <input type="checkbox"/> 端部が道路幅員内にはみ出していない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 施工延長が必要箇所に対して過不足がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 区画線等設置工事 | <input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 標識工事 | <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な取り扱いがしやすい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 取壊工事 | <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 既存部分や関連設備との調整がなされている。 <input type="checkbox"/> 取壊し後の整地等仕上がりの状態が良好である。 <input type="checkbox"/> 取壊し対象（リサイクル材、産業廃棄物等）の散乱等がなく処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 基礎工事 （杭基礎、地盤改良等） | <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 舗装工事 | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。（平坦性試験結果で規格値の2/3以内は評価、規格値を越えた場合は、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 歩車道境界ブロック等の構造物の通りが良い。また、民地等に対する乗り入れ幅は適切である又は改善提案を文書で行っている。 <input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面へのすりつけが良い。（既設路面との接続部分に段差があれば、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> マンホール蓋等、道路内構造物へのすりつけ等が良い。摺りつけ困難に対しては文書で改善提案していれば、評価対象と <input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。縦・横断計画の調整だけで改善できない場合は、文書で報告して <input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。 <input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率（%）で評価する。 | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--|--|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | 路面切削オーバーレイ工事 | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。（平坦性試験結果で規格値の2/3以内は評価、規格値を越えた場合はマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面への摺りつけが良い。（既設路面との接続部分に段差がある場合は、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 既設マンホール等、道路内構造物への摺りつけが良い。摺りつけ困難に対しては文書で改善提案していれば評価対象と <input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。縦・横断計画だけで改善できない場合は、文書で報告している。 <input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。 <input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 剥ぎ取り舗装工事 | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。（平坦性試験結果で規格値の2/3以内は評価、規格値を越えた場合はマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面への摺りつけが良い。（既設路面との接続部分に段差がある場合は、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 既設マンホール等、道路内構造物への摺りつけが良い。摺りつけ困難に対しては文書で改善提案していれば評価対象と <input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。縦・横断計画だけで改善できない場合は、文書で報告している。 <input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。 <input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 舗装復旧工事 | <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。（ただし、普通は評価対象とせず、目視的に平坦性が悪いと判断すればマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 適正な余盛及び既設路面への摺りつけが良い。（既設路面との接続部分に段差がある場合は、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 既設マンホール等、道路内構造物への摺りつけが良い。摺りつけ困難に対しては文書で改善提案していれば評価対象と <input type="checkbox"/> 縦・横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。縦・横断計画だけで改善できない場合は、文書で報告している。 <input type="checkbox"/> 舗装路面に施工不良等に起因する損傷がない。 <input type="checkbox"/> 横継目及び縦継目の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | インターロッキング・レンガ等舗装 | <input type="checkbox"/> 敷設されたブロックに破損やひび割れ、ガタツキや窪みがない。 <input type="checkbox"/> 目地砂等が十分に充填されている。 <input type="checkbox"/> 個々のブロック間に支障となる段差がない。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすり付け等端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 目地の通りやかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 土砂排除工事（農地） | <input type="checkbox"/> 心土及び表土面の仕上がりが良く、均平度も良好である。 <input type="checkbox"/> 表土面に砂利や雑物等が見られず、手戻り工事の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 検査前に地権者全員から確認書を取っており、手戻り工事の恐れが低い。 <input type="checkbox"/> 設計外であっても、畦畔や内畦畔及び排水パイプ等を復旧しており耕作に支障がない。（地権者に提案していれば評価対象とする。） <input type="checkbox"/> 工事で傷めたと思われる箇所（路肩・隅切・舗装クラック等）の復旧が完了している。（事前調査報告書がなければ復旧対象とする。） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 用排水管路工事 | <input type="checkbox"/> 給水栓の設置位置及び設置状況が良く、見栄えも良い。 <input type="checkbox"/> 埋戻しの転圧状態が良く、転圧不足による沈下等が見られない。またその懸念もない。 <input type="checkbox"/> 管路全体において最低土被り厚を確保している。 <input type="checkbox"/> 管路の仕切弁や空気弁ボックスの天端が道路面（縦断・横断勾配）に適合している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 水路工事 | <input type="checkbox"/> 構造物の通り及び既設構造物との接合状態が良い。 <input type="checkbox"/> 水路底盤に不均一な凹凸がない。（1本毎にデコボコ感があれば、マイナス評価） <input type="checkbox"/> 起点・終点の既設構造物及び土羽とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 埋め戻し・盛土部に沈下等の変形がなく、土羽の仕上げも良い。 <input type="checkbox"/> 斜流及び段差等による影響で法面浸食等が発生していない。もしくはその懸念がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 暗渠排水工事（農地） | <input type="checkbox"/> 畦畔、溝畔等の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 田面が均平に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 既に暗渠排水が機能しており、十分な効果を発揮することが予想される。 <input type="checkbox"/> 水路法面の復旧状態が良く、崩壊の恐れがない。転圧状況写真がなければマイナス評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工方法及び仕上げについて、地権者からの苦情がない。（民地内施工のため） <input type="checkbox"/> 排水路への接続は底盤より0.1m以上の段差を確保している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 可動ゲート工事 | <input type="checkbox"/> 端部にいたるまで仕上り状態が良い。 <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。 <input type="checkbox"/> 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 使用上及び維持管理上必要な安全対策が行われている。（提案があれば評価対象とする。） <input type="checkbox"/> 溶接によるひずみがなく溶接部も肉盛の確保、スラグ除去、研磨等、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 塗装ムラ等がなく、組み立て等細部にわたる配慮が見られる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率（%）で評価する。 | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--|---|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | 柵工・筋工・伏越工事 | <input type="checkbox"/> 全体的な通りがよい。 <input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせがよい。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> 埋戻し及び盛土部の仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 籠マット・フトン籠工事 | <input type="checkbox"/> 籠マット等の法線は、既設法線になじむように施工している。また、開き部に対しては腐食に強い鋼線で補強し、安定性が高い。 <input type="checkbox"/> 螺旋コイル等の端部は、籠内に曲げ込められ、安全性に配慮した施工となっている。 <input type="checkbox"/> 籠マット等の設置は、千鳥煉瓦積みとなっており、応力が接合部に集中しないように施工している。 <input type="checkbox"/> 籠は水平に施工され、個々に変形及び変形の兆しが無い。 <input type="checkbox"/> 裏盛土が比較的多く、積段が6段以上となった場合の背面盛土は、圧縮性の軸良質材(砕石等)を使用している。 <input type="checkbox"/> 既設部に対する摺りつけが良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 林道工事(軽微) | <input type="checkbox"/> 設計図書どおり切取勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 設計図書どおり盛土勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ及び良質土砂等の流用状況がよい。 <input type="checkbox"/> 残土処理等が適切であり、二次災害の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 地下水及び雨水の処理が適切にされ、林道や法面浸食が起り難い構造となっている。 <input type="checkbox"/> 張芝等による法面緑化が行われ、種子の発芽及び野芝の活着がよく、生育状態もよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 木材・木製品工事 (木橋、木土留工、木流路工等) | <input type="checkbox"/> 通りがよく、バランスが保たれている。 <input type="checkbox"/> 金具等規格にあったものが使用され統一性がよい。 <input type="checkbox"/> 形状・寸法等が確保され統一性がよい。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物へのすりつけ等がよい。 <input type="checkbox"/> 地山への密着性が確保され仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 鋼橋工事 | <input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 橋・伸縮装置工事 | <input type="checkbox"/> 伸縮装置の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 伸縮装置の設置高が良い。 <input type="checkbox"/> 下面側に施工による影響がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 床版補強工事 | <input type="checkbox"/> 表面に傷や補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 塗装・溶接の仕上がりが良く、均一性がある。 <input type="checkbox"/> 形状・寸法等が確保され統一性がある。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 鋼板に溶接ひずみ・ボルト固定ひずみ(やせ馬現象)が見られない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 地覆・高欄工事 | <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面にあばた及びジャンカ(材料分離)がなく肌が良い。 <input type="checkbox"/> 地覆及び高欄の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 地覆及び高欄の設置高が良く、波打っていない。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ及び面取り・端部仕上げ等が良く、クラックもない。 <input type="checkbox"/> 既設との接続で段差等がなく、接続状態が良い。 <input type="checkbox"/> 打撃試験結果で全体的に十分な強度が確認できた。(一部及び若干の強度発現不足はマイナス評価とする。) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 橋梁維持修繕工事 (防錆塗装、断面修復等) | <input type="checkbox"/> 表面に傷や手戻りによる補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物(既設断面)へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ及び面取り・端部仕上げ等が良く、クラックもない。 <input type="checkbox"/> 防錆材塗布の仕上がりが良く、均一性がよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 組立歩道設置工事 | <input type="checkbox"/> 歩道としての通りが良い。 <input type="checkbox"/> 歩道面に、床板のズレ等による段差がなく、平坦性がよい。 <input type="checkbox"/> 縦横断計画に従い、適切に路面排水が行われている。 <input type="checkbox"/> 床板及び現場打ちコンクリート部にクラックや損傷がなく、補修した痕跡もない。 <input type="checkbox"/> 既設路面との摺りつけが良い。 <input type="checkbox"/> 転落防止柵の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 転落防止柵に傷等がなく、加工・補修した痕跡もない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 | | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--------------------|--|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | 公園遊具新設工事 | <input type="checkbox"/> 金属及び木材の仕上げが滑らかで、けがの原因となる金属や木の剥離等がない。 <input type="checkbox"/> 開口部等の突起・角・縁部では面取りがされている。もしくは保護措置を講じている。 <input type="checkbox"/> 溶接は資格者が行い、標準仕様書・設計施工指針等に適合した施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ブリッジ等、転落防止ネットの結び目の処置が適正である。 <input type="checkbox"/> 部材の接続が適切でガタつきがなく、設置高等が適正である。 <input type="checkbox"/> コンクリート基礎が地面から飛び出しておらず、地面及び張芝面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 転落や指はさみ等の防護が確実で、安全性が高い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | テニスコート工事 | <input type="checkbox"/> 全体的に平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 所定の勾配で仕上げられているとともに排水性が高い。 <input type="checkbox"/> ラインの寸法・幅等、正確である。 <input type="checkbox"/> 既設部とテニスコートの端部がなじむように摺りつけられている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | グラウンド工事 | <input type="checkbox"/> グラウンドの平坦性が良い。（水溜りが懸念される場合はマイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 所定の勾配を確保し、雨水排水に配慮した施工となっている。 <input type="checkbox"/> グラウンド端部は、既設部になじむように摺りつけられている。 <input type="checkbox"/> 構造物とのとり合いが良い。 <input type="checkbox"/> グラウンド面に施工不良等に起因する損傷がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | バックネット工事 | <input type="checkbox"/> 支柱の安定性を確保するため、きめ細かな施工（補強鉄筋等）が行われている。 <input type="checkbox"/> ネットは適正に緊張され、たるみがない。 <input type="checkbox"/> 支柱やネットに腐食等が見られなく、または腐食の原因となる損傷が見られない。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良く、安全性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 衝撃緩衝工事 （野球場壁面等） | <input type="checkbox"/> 全体的に仕上がりが良く、均一性が高い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 重ね継手部及び端部にめくれ等の接着不備が見られない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 金属施設工事 （フェンス等） | <input type="checkbox"/> 金属材料の仕上げが滑らかで、金属角等の有害物質が除去されている。 <input type="checkbox"/> 開口部等の突起・角・縁部に対し、場所に応じた面取り等が行われている。もしくは保護材で保護している。 <input type="checkbox"/> 設置高が適正である。 <input type="checkbox"/> 部材の継目や接合部の処置が適切で、ガタつき等が見られない。 <input type="checkbox"/> 既設部を含み、全体的に接続が良好で侵入防止施設として機能している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 植栽工事 | <input type="checkbox"/> 樹種の特性に応じた自然樹形で整っており、樹冠を形成する一番下の枝の高さが適正な位置にある。 <input type="checkbox"/> 樹種及び大きさに適合した支柱が堅固に設置されている。支柱との結束は幹の生育に支障がないように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 枝葉の節間が詰まり枝葉の配分が四方に均等であり、枝葉密度も良好である。 <input type="checkbox"/> 植栽時期は樹種に応じた適切な時期に行っており、水締め及び水鉢が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 小規模植栽工事 | <input type="checkbox"/> 樹種の特性に応じた自然樹形で整っており、樹冠を形成する一番下の枝の高さが適正な位置にある。 <input type="checkbox"/> 樹種及び大きさに適合した支柱が堅固に設置されている。支柱との結束は幹の生育に支障がないように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 枝葉の節間が詰まり枝葉の配分が四方に均等であり、枝葉密度も良好である。 <input type="checkbox"/> 植栽時期は樹種に応じた適切な時期に行っており、水締め及び水鉢が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 植栽張芝工事 | <input type="checkbox"/> 芝の生育状況及び張芝の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 横は目地が通り、縦は千鳥で規則的に張り付けている。 <input type="checkbox"/> 端部芝においては剥がれないように目串等で補強し、また端部処理も良い。 <input type="checkbox"/> 剥ぎ取り芝の厚さに配慮した施工がされ、目土等により芝面は平坦に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> ベタ張り（密着）、目地張り（2～5cm間隔）、市松張り（1枚おき）の施工方法が目的と合致している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 播芝工事 | <input type="checkbox"/> 芝の活着及び生育状況が良い。 <input type="checkbox"/> 芝面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 植生密度が良好で、むらがない。 <input type="checkbox"/> 芝面が均一な仕上がりになっている。 <input type="checkbox"/> 構造物への擦り付けが良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率（%）で評価する。 | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型(土木用)）

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|---------------|--|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | テニスコート人工芝工事 | <input type="checkbox"/> 全体的に平坦性が良く、砂充填の仕上がりから芝目が1mm程度出ている。 <input type="checkbox"/> 所定の勾配で仕上げられているとともに排水性も高い。 <input type="checkbox"/> ラインの寸法・幅等、正確である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が適切である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 地下排水工事(公園等) | <input type="checkbox"/> 管の通りが良いことが施工状況から確認できる。 <input type="checkbox"/> 不等沈下や局部的な陥没等が発生していない。 <input type="checkbox"/> 仕上げ面の均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 施工区域内に地下水の影響と思われる湿った箇所がない。 <input type="checkbox"/> 施工前と同等の機能回復が行われている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 上水道工事 | <input type="checkbox"/> 管の通りがよい(掘削幅の端部に寄り過ぎた箇所があればマイナス評価) <input type="checkbox"/> 弁筐等の仕上げが良く、設置高さも計画路面高又は現況地盤高に適合している。(摺りつけ不備があればマイナス評価) <input type="checkbox"/> 管理設位置は振動や騒音に配慮すると共に維持管理等を考慮した適切な位置となっている。(改善提案を行ってれば、評価対象とする。) <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | さく井工事(ロータリー式) | <input type="checkbox"/> 井戸施設完了状態が適切で、長期にわたる安定状態が窺える。 <input type="checkbox"/> 管の周囲に不等沈下や局部的な陥没等が発生していない。また、写真記録からその恐れが低いと判断できる。 <input type="checkbox"/> 使用した敷地の原状回復が行われている。 <input type="checkbox"/> さく井により発生した泥等の処理が適切に行われ、周囲に影響を与えていない。 <input type="checkbox"/> 管底に堆積物が少ない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 水管橋工事 | <input type="checkbox"/> 表面に傷、錆、補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 溶接仕上がりの均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 管の通りがよい。 <input type="checkbox"/> 歩行防止柵等が安全で安定した仕上がりとなっている。ただし修繕工事の場合、老朽化調査報告書があればよい。 <input type="checkbox"/> 修繕工事の場合、鋼管の腐食診断報告書が提出され、指示に従った施工がされている。 <input type="checkbox"/> 設計通りのアーチ角が確保されている。または、中心部の下がり防止が講じられている。 <input type="checkbox"/> 管の横揺れ防止措置が講じられている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 橋梁添架工事(ポリ管) | <input type="checkbox"/> 管の通りがよい。 <input type="checkbox"/> 空気弁は、添架管の最も高い位置に設けられている。 <input type="checkbox"/> 歩行防止柵が安全で安定した仕上がりになっている。 <input type="checkbox"/> 管は横移動や変形等がないよう安定して取り付けられている。 <input type="checkbox"/> 表面に傷、補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 下水道工事 | <input type="checkbox"/> 仕様書で定められた管の挿入が確認でき、接合状況が良い。 <input type="checkbox"/> 管とインパートの接合部が平滑に仕上げられ、またインパートの形状及び勾配が適切で仕上がりも良い。 <input type="checkbox"/> 保水試験で漏水がなかった。(漏水処理を行ってればマイナス評価) <input type="checkbox"/> 汚水及び汚物の流下に対し、汚物等の堆積を懸念するような管のたわみがない。 <input type="checkbox"/> 管の勾配が規格値内であるだけでなく、管種・管径に応じた最低勾配を確保している。 <input type="checkbox"/> 管路は最低土被りを確保している。文書で改善提案を行ってれば、評価対象とする。(土被りに問題がない地区は、評価対象外とする。) <input type="checkbox"/> マンホール蓋が道路面(道路の縦横断勾配)に適合している。わずかではあっても窪地的な設置はマイナス評価とする。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 推進工主体工事 | <input type="checkbox"/> 接合状況が良い。 <input type="checkbox"/> 管内外面に補修痕等がない。 <input type="checkbox"/> 推進位置(管理設位置)が適切である。 <input type="checkbox"/> 管とインパートの接合部が平滑に仕上げられ、インパートの仕上がりも良い。 <input type="checkbox"/> スペーサー設置及び薬液・裏込め注入確認等の段階確認が行われ、不可視部の信頼が高い。 <input type="checkbox"/> 保水試験で漏水がなかった。(漏水処理を行ってればマイナス評価) <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 管きよ更生工事 | <input type="checkbox"/> 本管口の仕上げ材に、はく離やひび割れなどの異常がなく丁寧に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 反転・形成工法の更生材に、傷、しわ及び硬化不良等がない。 <input type="checkbox"/> 製管工法の更生管の嵌合部に不純物の挟込み等がない。 <input type="checkbox"/> 管きよ内に、穿孔くずや異物の残存物がない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率(%)で評価する。 | | | | |

工事成績採点の審査項目表（簡便型（土木用））

項目：出来形及び出来ばえ

<検査員>

| 種別 | 工種 | a | b | c | d | e |
|------|--------------------|--|------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---|
| | | 90%以上 特に仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 80%以上90%未満 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 | 60%以上80%未満 他の事項に該当しない。 | 60%未満 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。 | |
| 出来ばえ | 塗装工事 | <input type="checkbox"/> 塗装の仕上がり良く、均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされ、塗装漏れもない。 <input type="checkbox"/> 手戻りによる補修箇所がない。（錆の進行に対する改善措置を講じている、もしくは提案していれば評価対象とする。） <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好であり、完全に錆を除去している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 耐震性貯水槽工事 (二次製品) | <input type="checkbox"/> 中心線の通り及び材料の連結・かみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 目地及び切欠き穴の埋戻し等、仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 資材の破損がなく、躯体内外に補修痕もない。 <input type="checkbox"/> 漏水がなく、水密性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 埋戻しが良好で、転圧不足等による沈下が危惧されない。 <input type="checkbox"/> 土留めの引抜が適切にされ、引抜部の密度不足が危惧されない。（埋戻し1層毎に引抜が行われていなければマイナス評価） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 土堰堤工事 (処分場堰体等) | <input type="checkbox"/> 全体的に野芝等の活着及び種子の発芽が確認もしくは施工状況から予想できる。 <input type="checkbox"/> 法面勾配及び施工高さが設計図書に従い、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 既設地山への接続は、予め地山の緩んだ土砂を撤去し、接合部に雨水や地下水が集中しないように摺りつけ施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ブロック等、構造物への摺りつけが良い。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックや沈下及びその兆候もない。 <input type="checkbox"/> 築堤下流側に湧水がなく、堤体の安定が窺われる。（暗渠排水や補強盛土等の提案を行っていれば評価対象） <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 遮水シート等設置工事 | <input type="checkbox"/> 平坦性が良く、不適切な凹凸が無い。 <input type="checkbox"/> 接合状態が良く、漏水の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 端部処理及び既設土羽面への摺りつけが良い。 <input type="checkbox"/> 堰体天端部の処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。 | | | | |
| | 仮設工事（土留め等） | <input type="checkbox"/> 指定仮設物の通りが良く、施工困難箇所についても協議結果に従った適切な施工が行われている。 <input type="checkbox"/> 覆工板にガタツキがなく、設置高と道路面の段差摺りつけは良好である。 <input type="checkbox"/> 鋼矢板のかみ合わせで不良箇所がない。また、打ち込み長は設計値以上、確保している。 <input type="checkbox"/> 簡易土留め背面部に空隙がない。ただし、空隙に砂等を充填したことが確認できれば評価対象とする。 <input type="checkbox"/> 切梁及び腹起しについては掘削深に応じて適切に設置しており、全体的に安定性が窺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。（選択） | | | | |
| | 仮設工事 (ライナープレート) | <input type="checkbox"/> 施工位置の周囲が清掃され、異物落下防止措置が講じられている。 <input type="checkbox"/> ライナープレートは垂直に施工され、ズレ等の不備がない。（中心位置（垂直）管理がなければ、マイナス評価とする。） <input type="checkbox"/> 事故防止のため、機械掘削と人力掘削及び整形が同時作業となっておらず、掘削面が過掘りとなっていない。 <input type="checkbox"/> 鏡切り部の補強工事が資材搬入作業の支障とならない。また、資材搬入では作業員を避難させ、指示員の指示に従って搬入している。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。（選択） | | | | |
| | | ※ 評価の対象とする工種が「主たる1工種」又は「2～3工種」であるかに応じて、次のとおり評価する。 ・「主たる1工種」により評価する場合、該当する評価項目の数で評価する。この場合、評価の対象とする工種によって、a、b、c、dの区分が異なる。 ・「2～3工種」により評価する場合、選択した評価対象項目に対する該当の有無の比率（%）で評価する。 | | | | |